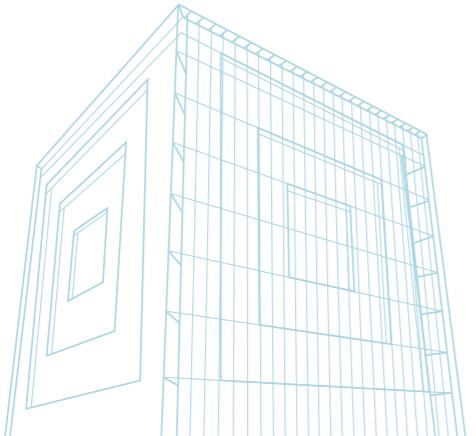




阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター資料室

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution



所蔵資料図録－暮らしのなかの震災資料－

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

2016年3月

所蔵資料図録

－暮らしのなかの震災資料－

Disaster Reduction and Human Renovation Institution
Pictorial record

1995.1.17



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室
震災資料集vol.2

所蔵資料図録

—暮らしのなかの震災資料—

Disaster Reduction and Human Renovation Institution
Pictorial record

1995.1.17

発刊にあたって

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターは、震災の経験と教訓を継承、発信し、減災社会の実現に貢献することをミッションとしています。これをふまえ、災害ミュージアムとして、展示や震災資料の公開を通じて震災で起こったことをわかりやすく伝えるほか、実践的な防災研究、防災人材育成などに取り組んでいます。当センターの特徴の一つは、膨大な震災資料を所蔵しており、生の資料から災害の悲惨さや減災の大切さを学んでいただけます。

地域の被災者やさまざまな団体が保有されていた震災資料については、震災から9ヵ月後の1995年10月より、兵庫県と財団法人21世紀ひょうご創造協会によって収集・保存の取組が始まりました。この取組は、その後財団法人阪神・淡路大震災記念協会、さらに当センターへと引き継がれ、現在に至っています。

被災の状況を表現し、被災地の復旧・復興過程で使用、作成されたモノ、紙、写真、映像・音声といった数々の震災資料は、モニュメントや語り継ぎなどと相まって、震災の記憶を伝え続けるもので、震災を知り、将来の災害に備えるため、一層の活用が求められています。

震災から21年が経過したことを機に、当センター資料室では、所蔵する震災資料のうちモノ資料を取り上げ、改めて写真撮影と目録作成を行うなど、これまでの資料収集の足跡を整理しました。そして、その成果を『所蔵資料図録－暮らしのなかの震災資料』として発刊することいたしました。

この図録が、阪神・淡路大震災の経験を改めて振り返り、首都直下地震、南海トラフ巨大地震など国難となる大災害に備えるため、多くの皆さんに活用されることを願います。

2016年3月

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

センター長 河田 恵昭

まえがき

人と防災未来センターの所蔵する「震災資料」は、阪神・淡路大震災の被災地で収集・整理されたモノ、紙、映像・音声、写真の4種に大別された「一次資料」と、同震災や災害一般や防災・減災に関する刊行物を集めた「二次資料」とに分けられる。資料室に来室すればすぐに手にとることのできる開架された二次資料とは異なり、適切な温湿度のもとで管理するための収蔵庫に保存された一次資料を見ようとすると、閲覧申請が必要である。定められた手続きは決して難しくはないが、研究・調査目的でなければ利用されにくい傾向は認められよう。

そうした現状を改善するために、資料室では、『震災資料集vol.1 阪神・淡路大震災における住まいの再建一論説と資料一』を2012年3月に資料室より刊行した。本書『震災資料集vol.2 所蔵資料図録—暮らしのなかの震災資料』はvol.1の成果を踏まえつつ、これまで「見て感じる」対象としてのみ扱われてきた“モノ資料”に着目し、その全容と背景を紹介することによって、これから震災資料と向き合う可能性を広げるものである。

資料室にとって2015年は、閲覧や展示や視察への対応などの機会を通して、これらと向きあった人の発する声がいかに多様であるかを実感する年となった。

阪神・淡路大震災から20年を迎えるにあたって、数々のマスコミ関係者が当センターの所蔵する震災資料に注目して取材に訪れ、資料がその寄贈の背景に存在した

エピソードとともに特集紙面に掲載された例もあった。テレビ放送のスタジオに貸し出した資料が特集番組で紹介された例もあった。阪神・淡路大震災20年の展示が博物館や美術館や資料館で企画され、当センターの实物資料や写真データが展示に利用された例もあった。

これらの利活用は被災地内にとどまらず、資料室にとって、国内外の他地域から阪神・淡路大震災を伝える震災資料に関心が寄せられていることを強く感じる経験となった。そして、貸出しを希望された震災資料は、その多くがモノ資料、なかでも視覚的に震災被害を読みとりやすい資料であった。一方で、貸出しの相談では、時間をかけて話しあうなかで、相談者各自の解釈に基づき資料を選んだ例も見受けられた。

震災資料が語るために手助けをする。その手法の一つとして、このたび、当センターの所蔵し公開しているすべてのモノ資料についての総覧を刊行する運びとなった。本書が、いつかどこかで本書を見て関心を持たれた方にとって、閲覧や相談に来られるきっかけになるように、その想いが伝わることを願う。そして、本書の発刊にあたってご協力いただいた多くの方々に厚く御礼申し上げたい。

2016年3月

人と防災未来センター資料室

人と防災未来センター資料室 震災資料集vol.2

所蔵資料図録

—暮らしのなかの震災資料—

目次

発刊にあたって	3
まえがき	5
阪神・淡路大震災の概要	8

人と防災未来センター資料室からの報告

総説 一震災資料と向き合う一	村上しほり 10
残すため、つなぐ作業	岸本くるみ 13
震災資料の目録整理	深井 美貴 14
環境調査・資料保存のとりくみ	杉本 弘幸 15

第1部 [特集]モノ資料へのまなざし

5:46で止まった時計	19
仮設住宅で生まれたモノ	20
1995年当時の機械	21
外から届いたメッセージ	22
内から語られたことば	23
大きな資料の伝えること	24
1.17の表象—震災絵画・作品	25
21年目の食料品	26
震災資料のメッセージ 2013-2015	27

第2部 モノ資料写真一覧

01 震災被害を示すモノ資料	30
02 被災地内で生まれたモノ資料	40
03 被災地外から届いたモノ資料	82

第3部 目録

3階常設展示	90
モノ箱	91
モノ大箱	100
箱外	107

『所蔵資料図録—暮らしのなかの震災資料—』に寄せて

震災展示の重要性とその見直し	室崎 益輝 118
震災の記憶と記録	小林 郁雄 119
物語るモノ／物言わぬモノ	矢守 克也 120
モノの力	牧 紀男 121
初めてのモノ資料	伊藤亜都子 122
“おわん”	佐々木和子 123
震災資料収集の思い出	柴田 和子 124
回想—企画展「阪神・淡路大震災15年 伊丹からの発信」	水本 有香 125
震災資料集vol.2に寄せて	吉川 圭太 126
『震災資料のメッセージ』を伝える資料室への期待	石原 凌河 127

資料編

人と防災未来センター資料室のあゆみ	130
震災資料の収集	132
震災資料の整理・分類	133
震災資料の保存	133
震災資料の公開	134
震災資料の利活用	135

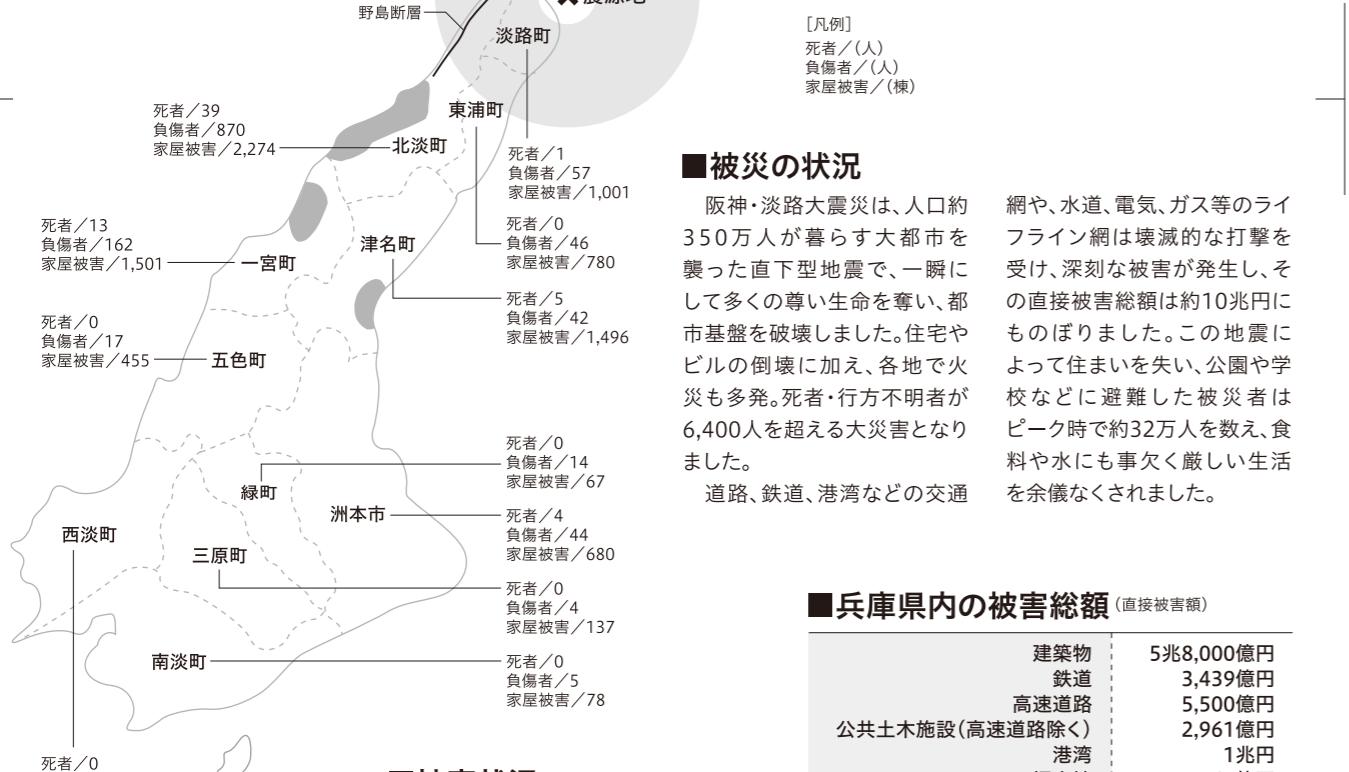
阪神・淡路大震災の概要

■地震の規模
マグニチュード▶ 7.3 最大震度▶ 7

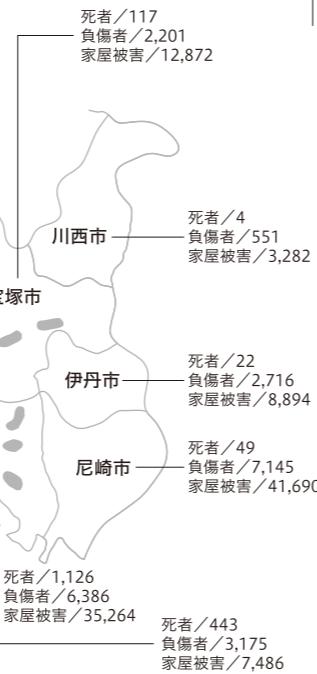
■観測史上初の震度7

「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」と命名されたこの地震は、1月17日(火)午前5時46分51秒8、淡路島北部(北緯34度36分、東経135度02分、深さ約16km)を震源として発生しました。

気象庁では、当初地震計での観測結果から最大震度6と発表しましたが、その後の現地調査で、神戸市東灘区から須磨区にかけての6つの区と芦屋市、西宮市、宝塚市、淡路島北部地域の一部については、2月7日に観測史上初の震度7と修正されました。



(兵庫県調べ)※市町名は震災当時



■被災の状況

阪神・淡路大震災は、人口約350万人が暮らす大都市を襲った直下型地震で、一瞬にして多くの尊い命を奪い、都市基盤を破壊しました。住宅やビルの倒壊に加え、各地で火災も多発。死者・行方不明者が6,400人を超える大災害となりました。

道路、鉄道、港湾などの交通網や、水道、電気、ガス等のライフライン網は壊滅的な打撃を受け、深刻な被害が発生し、その直接被害総額は約10兆円にものぼりました。この地震によって住まいを失い、公園や学校などに避難した被災者はピーク時で約32万人を数え、食料や水にも事欠く厳しい生活を余儀なくされました。

■兵庫県内の被害総額 (直接被害額)

建築物	5兆8,000億円
鉄道	3,439億円
高速道路	5,500億円
公共土木施設(高速道路除く)	2,961億円
港湾	1兆円
埋立地	64億円
文教施設	3,352億円
農林水産関係	1,181億円
保健医療・福祉関係施設	1,733億円
廃棄物処理・し尿処理施設	44億円
水道施設	541億円
ガス・電気	4,200億円
通信・放送施設	1,202億円
商工関係	6,300億円
その他の公共施設等	751億円
合計	約9兆9,268億円

(平成7年4月/兵庫県推計)

Disaster Reduction and Human Renovation Institution
Pictorial record

人と防災未来センター 資料室からの報告

総説 —震災資料と向き合う—

村上 しほり

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の体験や記憶は時間が経つにつれて、伝えるべき経験や教訓を生み出していく。震災資料はその歴史化に資する存在であるとともに、1.17という出来事が一括りになる過程で捨象される個々人の暮らしを想起させ続ける存在でもある。

本書では、当センターに所蔵する震災資料のなかでも、文字情報が含まれない「モノ資料」について「語る」手助けを企図した。震災資料に込められた寄贈者の想いを後世に伝えるとともに、現時点の資料室の震災資料との向き合い方を記録するものである。

■人と防災未来センター資料室に所蔵する震災資料の収集・保存経緯

まず、人と防災未来センターに所蔵される震災資料について収集・保存の経緯を紹介する。

阪神・淡路大震災の被害を伝える資料の収集は、1995年10月から兵庫県の委託を受けた(財)21世紀ひようご創造協会が「震災とその復興に関する資料・記録の収集・保存事業」として始めた。1998年4月以降は、(財)阪神・淡路大震災記念協会が引き継いで収集事業を続け、公開基準の検討を行った。

2000年6月からは、兵庫県の「緊急地域雇用特別交付金事業」を用いた大規模な震災資料の調査事業が2年にわたり行われた。のべ約450人の調査員が各種NPO等団体、復興公営住宅、学校などを訪ね、チラシ・ノート・写真・避難所が使用された物など、「生の」資料を集めた。こうして収集された約16万点の資料*を引継ぎ、2002年4月に開館した人と防災未来センターの資料室において「震災資料(一次資料)」として公開・保存・利活用にあたっている。

*(財)21世紀ひようご創造協会や(財)阪神・淡路大震災記念協会が収集したものを含む。

■「モノ資料」の位置づけ

当センターの所蔵する「震災資料」の大半は民間資料である。大きな被害の残る復旧・復興途上の被災地では人命以外にも多様なものが救助された。美術館・博物館・資料館

等の救助した文化財にとどまらず、個人レベルの過去への思いが込められたものも、掘りだし集められる対象となつた。文化財とは何かが問い合わせられた一方で、阪神・淡路大震災という出来事によって新たに現れた震災資料を捉え、位置づけていく必要も生じた。

震災資料の多くは、市井の人びとの暮らしとともに在った日用品や日常の記録で、形態も媒体も残された動機もさまざまである。さらに、地震の被害を示すものに加えて、被災地に関わった人々の交流が生んだものも震災資料として集められた。

震災資料とは何か。震災資料、ことモノ資料は、被災地域に暮らす人びとの物質生活・心象の推移や変遷を伝え、地域文化を表象する存在である。その価値や位置づけは聞きとり調査の内容と不可分であって聞きとりや社会的背景を踏まえてこそ理解し得るという性質は、民族資料の物的資料と近しい。

■本書の構成と特色

本編の構成は、第1部 特集、第2部 モノ資料写真一覧、第3部 目録と資料編からなる。

第1部では、震災資料専門員による震災資料へのまなざしが切りとった資料群を、寄贈者の想いや他媒体の資料と合わせて紹介する。多様な震災資料の語ることへの解釈の一例としてご覧いただきたい。

第2部ではモノ資料の総体の写真一覧を、01.震災被害を示すモノ資料、02.被災地内で生まれたモノ資料、03.被災地外から届いたモノ資料、の三区分で示した。01.震災被害を示すモノ資料には、壊れたり、歪んだり、焼けたりと、家屋の倒壊や焼失による所有物への被害を窺わせるものが多い。02.被災地内で生まれたモノ資料には、復旧・復興過程の人びとの生活を想起させるものや、当時目にしたであろうものが含まれる。03.被災地外から届いたモノ資料を見ると、離れた地域から被災地に向けて送られた支援や励ましの気持ちを読みとることができる。

第3部では各資料の保存箱種類・番号と資料様式と受入の形態を含めた資料目録を、保存する箱の種類ごとに示し

た。「モノ箱」「モノ大箱」「箱外」と並ぶ表記はおそらく見慣れないものだろう。これは収蔵庫2室と2種類のサイズの保存箱を用いて資料保存・管理にあたるうえで、モノ資料を収めている箱のカテゴリー(箱種類)を示す。前述の3区分の箱種類は、およそ資料サイズにしたがい昇順である。目録の各区分において調査先番号を昇順に列記している。

これらは、複数の階層性で資料を捉えている資料室の現状に則した表記を心がけたものである。震災資料の整理・分類は、原秩序尊重の原則に沿って行われている。初期の調査事業進行管理のために作成された作業進行表をもとにして出所に関する「調査先目録」が、資料個票から「件名目録」が作成され、現在もこの項目を運用している。なお、項目作成の参考にした記録史料の記述標準であるISAD(G)(General International Standard Archival Description)の特徴は、資料のコンテクスト(出所)を重視している点にある。【資料編参照】

■寄贈者への聞き取りの記録

当センターでは開館時より、所蔵する一次資料の寄贈者(出所)を「調査先」と称する。この調査先という資料群ごとに整理し、保存・公開していることに加え、資料のご寄贈時に聞き取りをした情報は、「調査先情報」という記録として資料室が管理し続けている。当センター西館3階の常設展示「記憶の壁」では、57点のモノ資料とともに聞き取りに基づく短いエピソードに触れることができる。しかし、収蔵庫に保存される1100点以上のモノ資料や、それぞれの寄贈者への聞き取り記録の存在には、展示を見るなかではきっと気がつかない。

一次資料の所蔵点数はいまや18万点を超える。ウェブ上の検索データベースを通じて、離れた場所からも所蔵資料を探すことができる。しかし、利用者にとって、調査先という資料群のまとめは掴みにくく、閲覧の際にもキーワード検索を用いられる方が多いように見受けられる。すでに状況に応じて相談を受けてサポートしているが、利用者端末から見られる情報よりもさらに深い記録があると知らせておくことは、利活用の促進の一助となるのではないかと今般考えた。

調査先情報という資料群の背景を語る記録は、個人情報への配慮が欠かせない。そのためすべてを公開することはできないが、調査先の大半に付して保存されている。【報告②参照】

■一次資料の整理・登録の現地点

これまで15年にわたり資料収集と整理が行われてきた蓄積は、資料点数にも表れているとおり大きい。しかし、関わった専門員の多さは、登録情報の規格化を難しくもしたのだろう。マニュアルに正しく従った登録がなされていないために、キーワード検索では同一の基準で資料を探しができない事例も見られた。明らかな登録ミスに気がつけばそのまま修正するが、修正する傍から登録に不具合も生じる。ミスかどうかの判断も難しいので、逐一報告し、話あって決めた。20周年を経験して1年が経った頃、この堂々巡りを止めるには原因を見つけなくてはならないと、専門員のあいだで意見が一致した。

なぜ不統一が生じるのか。傾向はあるのか。資料整理時の必要項目数が多いために、項目の意味を十分に理解しないなければ記入欄を取り違えることは、自らの経験からも感じていた。運用されたマニュアルに沿って手を動かすだけの資料整理ではなく、まずは既存の仕組みを解し、既存の資料保存・管理を通して、震災資料に親しむ必要がある。そのなかでこそ、より有用性の高い利活用のありようも見えるものだろう。【報告③参照】

■資料保存の射程

さて、登録情報の再整理を行うには所蔵資料の状態を知ることが重要である。しかし、日常的に閲覧申請や確認の必要に応じて出納する資料の数は、高が知れているだろう。2016年1月17日時点では約18万5000点もの一次資料を所蔵している。おさめる資料ごとに箱種類を区分し、その内訳は、紙箱768箱、モノ箱89箱、映像・音声資料箱217箱、大箱(紙)45箱、モノ大箱25箱、箱外(大型モノ資料)372点、新保存箱(図書)46箱である。これら1144箱(箱外、図書除く)のすべてを検めることは、私たち専門員にも到底できない。

また、すべての物質は劣化する。当センターも予防措置をとっているが、いずれ限界は訪れる。特に、モノ資料の中には材質によって劣化の速いものや、脱酸処理が有効でないものも含まれる点を懸念する。食料品が資料登録・保存されていることには、新任職員や視察に来られた他機関の方々も驚く。これらは経年変化や環境変化のリスクを承知のうえで受け入れられ、残されてきたが、保存処置にもリミットは迫る。2015年4月には、1点の缶詰の継ぎ目が腐食し中身が漏れ出たために、悩み、相談を重ねた結果、記録写真を残して現物の資料を廃棄せざるを得ないと判断を余儀なくされた(魚の缶詰 3600067-001002)。今後も検討し続けなくてはならない課題の一つである。【報告④参照】

■資料情報にみる写真技術の進化

資料登録時にはスキャニングによってデジタルデータも保存する。現状、破損の危険性が低い平面資料にはフラットベッドスキャナ、立体物や大型資料にはデジタルカメラを用いている。

資料収集事業が進められた1995年から2000年頃はWindows95が生まれパソコンの普及が始まった頃で、デジタルカメラを使って画像を取り込むこともまだ先進的であった。デジカメは1980年代に開発され、1999年には一般家庭でも購入され始めたが、2002年頃もなお普及率は20%程度に止まっていた。

調査員によって2000年頃に撮影されたとみられる画像データの品質は、解像度、階調、色調再現性ともに不十分である。画素数が低く、ノイズも大きく、画像の色調、明るさ、コントラスト等を調整することも難しかった当時のテクノロジー事情が察せられる。

資料デジタル化に関する技術は、21世紀に入り急速に進展した。15年以上前に撮られた資料画像は時代背景や調査員の足跡を伝えて興味深い一方、スマートフォンも普及して資料検索が容易になったいまでは情報を読みとるにはあまりに不足が多い。資料室もまた、新たな技術や知識を学びつつ、今後の利用のため、現状に適した画像を準備し、デジタルデータの保存・管理も検討する必要がある。

以上のように、「現在」として記録された情報は永遠ではない。これから30年、50年、100年と保存し続けるなかで、再整理や検討も求められるはずだ。だからこそ、定期的に資料の状態調査を行い記録し、最新の情報を更新していくながら、手法を代々引き継ぐことが理想的ではないだろうか。

その試行の一歩として、2015年度はモノ資料をすべて目録化し、箱を開けて薄様を解き、実際に目と手で確認し、目録情報の正誤をチェックしたうえで、一点一点を撮影しながらした。センター西館3階の常設展「記憶の壁」に展示されている資料の確認も行い、情報を整理した。自分たちでは撮影できない大きな資料や破損して複雑な形態になった立体資料は、撮影のプロに協力を仰いた。

最終的に、全モノ資料の状態調査を終え、公開を当センターに一任され、個人情報の公開に問題がないとみなしたモノ資料1210点、1202枚の撮影画像を本図録に掲載することとなった。

多様な経験を重ねて代々の専門員が保存の対策を講じつつ残してきたモノ資料の現時点を、誰もが総覧し得るかたちで発信する。阪神・淡路大震災によって生まれた震災資料と、それを繋ぎつづける取組みの一端の記録を企図した本図録がこれからの収集・保存や利活用に資することを願い、総説としたい。

【参考文献・報告書】

- ◎文化財保存修復学会編『文化財は守れるのか?阪神・淡路大震災を検証する』クバプロ 1999年
- ◎板垣貴志+川内淳史編『阪神・淡路大震災像の形成と受容 震災資料の可能性』岩田書院 2011年
- ◎(財)阪神・淡路大震災記念協会「震災資料の分類・公開の基準研究会」報告書 2001年3月
- ◎(財)阪神・淡路大震災記念協会「震災資料の保存・利用、及び活用方策研究会」報告書 2002年3月
- ◎阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター「震災資料の公開等に関する検討委員会」報告書 2005年6月
- ◎国立国会図書館関西館電子図書館課「国立国会図書館資料デジタル化の手引き 2011年版」2011年

人と防災未来センター資料室からの報告…②

残すため、つなぐ作業

岸本 くるみ

本図録への掲載にあたり、改めて全モノ資料の写真撮影を行った。デジタルカメラの性能は上がり、三脚に触れるのもはじめての素人が撮影しても使える写真が簡単に撮影できるようになった。機械類はどんどん新しい製品が登場し、最新型も時間が経てば旧機種になる。電子媒体も共に変化し、再生する手段も限られる。紙・写真資料の電子化(画像ファイルでの保存)や、音声・映像資料の媒体変換(VHSやminiDV等を映像ファイルにし、ディスクまたはHDに保存)の処置を、資料室でも継続的に行ってきた。

写真で資料の詳細を残すことができるようになっても、モノ資料は見て情報を得るためだけのものではないと、この度の撮影を通して感じていた。震災当時から今も存在しているモノ、現物が教ってくれる何かがある。

その存在感に改めて気づいた出来事がある。今年度のトライヤーのワーク(兵庫県教育委員会が実施する中学生の職場体験活動)で訪れた中学生に資料室の業務について紹介していた時のことだった。収蔵庫に置いてある、地震で歪んだ『側溝のふた 1300322-003608』を見せて、地震のエネルギーは大きかったと説明をした。彼女はただ頷いて、めずらしそうに資料を眺めていた。しかし、実際に手で資料に触れた瞬間、驚いた表情になった。側溝の蓋は分厚く頑丈で、力のある大人でも持ち上げるだけで労力がいる。歪んで変形していることは見た目に充分確認できるが、近くで見て、触ってみると、人がこれを曲げることは不可能だろうということが、自然とわかる。

どんな資料なのか、見ただけでは想像し難いモノも多い。専門員はデータベースにアクセスし、資料の寄贈時に聞き取った内容などが入力された資料情報・調査先(寄贈者)情報を読む。入力情報が少ない場合もあるが、調査先に連絡を取り、更なる情報を得ることもある。

資料室が実施する展示企画「震災資料のメッセージ(特集ページ参照)」にて、2015年度に『ポリ容器(三重県津市から運ばれた水) 0000341-002001』と『阪神・淡路大震災を忘れないで!童話「地球が動いた日」被災者救援募金で使用された自転車 0000326-001001』を展示した際、それぞ

れの資料寄贈者が展示を見るため来館された。

ポリ容器は、西宮で被災した男性(寄贈者の息子さん)の家まで、三重県に住んでいた女性が水を入れて運んだものである。それをきっかけに結婚され、お子さんが生まれたことがわかる手記も一緒に寄贈されていたが、容器の中の水が使われずに残っていたことを不思議に思っていた。展示の機会に連絡を取ったことで、寄贈者の男性に尋ねることができた。当日すでに水を確保できたが、何かあったときのためにポリ容器の水はとておくことにしたと教えてもらった。

自転車は、仮設住宅に暮らすお年寄りを支援する募金を集めようと、当時小学生だった兄弟が夏休みに日本を一周したときのもの。お兄さんの使った自転車で、弟さんのものは大阪の自転車博物館に寄贈されている。20年が経って奥さんと一緒に来られたお兄さん、そしてお母さんから、当時の様子を詳しくうかがった。どうして自転車で日本を一周しようと思ったのか、大変だったことは何か。今回お話をいただいた記録も、調査先情報に追加で入力した。

これらの出来事のように、震災当時の資料は、そのまま止まっているわけではない。私たちと同じように日々を重ねており、物質的に劣化しながらも、新しい出来事を生む。新しい資料の寄贈がなくても、資料には手をかけ、調査先には手を伸ばし、データベースの情報は更新されづけていく。

震災資料のメッセージで展示中の『炊き出し用大鍋 0000250-022001』を見た方が、ボランティアで活動していた頃が懐かしいという感想をSNSに投稿されていることがあった。資料が使われていた時を知る人や寄贈者から直接声を聞くことができるのも現代資料の面白さ。被災地に建つセンターの資料室が、その様子を見つめ、記録を残すものだということに気づき、納得する。代々残してきたものを、つなぐ仕事は今日もつづく。

震災資料の目録整理

深井 美貴

全体数にして18万8500点あまりの資料の管理には、目録とそのシステム化が不可欠である。センターでは資料整理・管理専用のシステムを購入し、震災資料の収集・保存の目的に沿うようにカスタマイズして使用している。開館準備期間から10年以上同じシステムを利用していたが、2014年6月にリプレイスされた。リプレイスに先立って2013年度からシステムの構築が始まり、従前のシステムから継承するべき点、改善すべき点が検討された。その結果が反映されたのが現在のシステムである。

入れ替えられたシステムは、主にインターフェイスの点で大幅に改善されており、概ね快適に利用できている。しかしながら、利用するうちに問題点も浮上してきた。入れ替えの際に発生したと考えられる問題点もあったが、大半は旧システム、あるいはセンターの目録自体が抱えていた問題点であった。最初期から同じシステム、同じ目録を使い続けることにはメリットもあるが、固定されていることから起こるデメリットも持っている。リプレイスで、そのデメリットによって起こる問題が現り出されてきた。

■使用される言葉

目録作成の際には同義語やあいまいな表現の使用を避けるために、用語に一定の統制が必要になる。その統制から外れた用語が使われていると、検索が困難になってしまう。しかしながら、総説でも既述のとおり、センターの目録では、本来統制されているべき項目に使われている用語が、しっかり統制されていなかった。これは恐らく、旧システムが、開館前の目録をどうとるべきかを検討する段階で作られたシステムであったことが、原因のひとつだと考えられる。その時点では用語を定めることができず、ある程度の記述の自由を確保していた。定められた時点で自由度をゼロにするべきだったものを、そのままにしておいてしまった。そのため、後になってからの職員が、統制されているものと思わず記述してしまったのだろう。用語の問題は、発覚した順に他の職員やシステムを開発した業者の担当者と相談しながらひとつずつ解決している。対症療法的ではあるが、改善の途上にあると言える。

■記入する項目・しない項目

目録の構造は2000年6月から開館までの大規模な資料調査事業時代のものをそのまま踏襲している。現在収蔵されている資料の多くがその時期に収集されたものであるからだ。そのときに使われていた目録作成マニュアルも残っていて、現在の資料整理にも使っている。しかし、参加する人数の多い大規模な調査事業のときには必要だった項目であっても、4人の資料専門員が日常の業務の合間に資料整理を行う現在には必要なくなっている項目がある。担当の調査員がどの班に所属していたのかを表す出所番号や、配布したアンケートの回収日や記入内容を記す項目などがそれである。

これらの項目は、収集当時の状況を示す記録であり、削除することはできない。しかしながら、そのまま残しておくと、何らかのミスによって登録された内容が変更されてしまったり、新規に収集した資料の整理の時にもその項目を記入してしまったりすることがあります。このような事態を防ぐためには、かつては必要だったけれども現在は必要なくなっている項目があること、その項目が何なのかをしっかりと把握しておくことが必要である。【資料編:震災資料の整理・分類参考】

にもかかわらず、そういう内容が職員から次の職員へ継承される体制ができていない。筆者自身、就任当初は知らなかった。目録システムの保守・改善の担当となり、目録自体がどういったものなのかを調べるうちに把握するようになった。今後記入の必要がない項目について、どうやって継承していくのかを検討しなければならない。

環境調査・資料保存のとりくみ

杉本 弘幸

これまで資料室では他所にない貴重な資料の劣化や文化財害虫、カビ対策として、収蔵庫や西館3階の収蔵スペースにおいて、資料保存環境調査、温湿度管理や炭酸ガス燻蒸・RPシステムの導入・酸化チレンガス燻蒸などを実施してきた。

■資料保存環境調査の実施

原資料の劣化を防ぎ、収集した時の状態を可能な限り維持・保存していくためには、資料保存に適した環境を整えることが必要である。そのため資料室では、主に資料収蔵スペースにおいて年1回の資料保存環境調査を実施し、調査結果に基づいた資料保存環境の整備を進めている。2004年度から調査を定期化して2015年度で12年目となった。

調査は資料保存環境の変化を調べるために、前年度とほぼ同じ箇所(3階展示フロア内の収蔵スペース、5階の作業スペース、7階の2つの収蔵庫)でエアサンプラーによる空気中のカビ測定、捕虫トラップによる文化財害虫の生存状況の調査を実施した。

■温度・湿度データ管理の実施

震災資料の保管状態把握のため、3階、7階の資料収蔵スペースの温湿度を継続的に計測している。震災資料はさまざまな素材の資料が混在しているため、すべての資料に適合的な温湿度として、温度20度前後、湿度40~50%前後の通年維持を目標に温湿度管理を行っている。平成17年度から3階と7階の資料収蔵スペースに5台の温湿度データロガーを配置し、年間を通じた温度と湿度のデータを保存している。

これまで計測してきた温度・湿度データの結果にもとづいて、①2007年度から季節に応じて、空調設定の変更。②2009年度から、3階展示フロアに収蔵している保存箱内に、湿度を安定させるため、調湿紙の導入。③2010年度には7階収蔵庫の空調工事の実施。④2012年度から家庭用除湿器を3階展示フロアに3台、7階に2台設置し、夏から秋にかけて稼働させていた。しかし、あまり効果がなかったため、2013年度から、家庭用除湿器を7階第1収蔵庫に5台設置

し、夏から秋にかけて稼働させ、湿度の安定化を図っている。このような対策の結果、資料収蔵スペースの温度は夏期を除いて、20度前後におおむね安定している。しかし、湿度が通年で20~70%前後と変動が激しく、湿度管理のさらなる改善が必要である。特に3階展示スペースの温湿度管理が大きな課題である。

今後はさらなる湿度の安定化のため、7階第1・第2収蔵庫の壁面に調湿ボードの設置を検討している。

■防虫・防カビ対策の実施

はじめにふれた資料保存環境調査で、湿度の変動の激しさも影響し、毎年文化財害虫類・カビ類が捕獲されている。さらに寄贈資料の中に水損などでカビ類が発生した跡やモノ資料の破損、サビが見られるものがあった。そのため、適時専門業者に依頼し、クリーニングや修復を行ってきた。

恒常的な対策としては①2006年度に殺虫効果のある炭酸ガス燻蒸キットの購入による炭酸ガス燻蒸の実施。②2007年度から外部からの文化財害虫やカビの侵入を防ぐため、7階収蔵庫の各入口に抗菌粘着マットの設置。③2010年度に資料をRP剤と呼ばれる脱酸素剤とともに酸素透過量の少ない袋に密封することで、化学薬品を使うことなく、長期にわたる防虫・防カビ効果が期待できるRPシステムの導入。④2015年度にカビの発生した資料と新規収蔵資料に対して、強力な殺虫・殺カビ効果のある酸化チレンガス燻蒸の実施。⑤定期的な収蔵庫の清掃などの対策を取ってきた。

今後は、清掃を強化するとともに、定期的な炭酸ガス燻蒸・酸化チレンガス燻蒸を行うなどの対策を講じていくことを検討している。

Disaster Reduction and Human Renovation Institution
Pictorial record

第 1 部 [特集]モノ資料へのまなざし

[特集] モノ資料への まなざし

本特集では、図録・目録に掲載する人と防災未来センター所蔵のモノ資料の総体と向き合い、震災資料専門員の見出した「資料群」を紹介する。

一次資料の中でも「モノ資料」と整理され、公開されている1200点余は、向き合い、触れる私たちの経験や考え方や想いを映し出す鏡のような存在である。被災当時の体験や立場によって、同じものを見ても想い起ることは異なる。つらい、悲しい、ありがたい、筆舌に尽くしがたい。各人の想いも、時が経ち変わったり、変わらなかつたりする。大人であったのか、子どもであったのか、また生まれていなかったのか、世代によって感じることや温度にも差があつて然るべきである。

たとえば、モノ資料には、震災当時の日用品や避難所等の看板や震災絵画が多く含まれている。歪み、壊れ、焼けた数々の資料からは、大地震の発生による家屋の倒壊や家具の転倒や、地区的火災などの被災直後の状況をイメージし得るかもしれない。20年前の日用品には、古びた大きな鍋や、電化製品、衣料品、楽器や食器なども見られる。震災体験の記憶や、発災から次第に復興していくまちの姿を描いた絵画もあれば、被災地の人々を励ますと送られたさまざまな支援物資や、千羽鶴や寄せ書きもある。

これらは一見したところ“震災によって生まれた”とは想起し難いとも言われるが、地震という大地の変動による災害と、そこに存在していた人々の暮らしを伝える資料である。雑多に見えるかも知れないモノ資料から何を受け取るか。それは震災資料にまなざしを注ぐ私たちそれが投影し、見つけるものではないだろうか。

当センターの資料収集・整理では、資料の寄贈者を「調査先」とし、この調査先を資料群と見て保存・管理している。この形態は決して崩してはならないが、利活用の相談に応えて資料を探すなかで、新たなまとまりを感じられることもある。次頁からは、2015年度震災資料専門員の経験した見方—まなざしーをもとに新たな資料群を整理した。これから震災資料と向き合うときの一助になればと願う。

- 5:46で止まった時計
- 仮設住宅で生まれたモノ
- 1995年当時の機械
- 外から届いたメッセージ
- 内から語られたことば
- 大きな資料の伝えること
- 1.17の表象—震災絵画・作品
- 21年目の食料品
- 震災資料のメッセージ 2013-2015

5:46で止まった時計



[凡例] ■ 調査先番号-資料番号
■ 調査先名称
■ 資料名称

2200378-001001 藤井孝 置き時計	0000328-001001 人見陽一郎 壊れた置時計	0000329-001002 鈴木邦宏 5時46分で止まった掛時計	0000331-001001 長澤慶二 壊れた掛時計
0000356-001001 武智勝美 壊れた時計	0000429-002001 奥田英夫 地震で壊れた時計	0000485-001001 野崎暉生 地震によって破損した時計	1200772-000001 秋山喜雄 置時計(5時46分を表示して止まった状態)
1600719-000001 斎藤昌夫・桂子 被災したミニ置き時計	1600755-000001 神野大吉 置時計	2100390-000002 仲原晶子 置時計	2200209-000001 東道雄 掛時計
2200473-000003 加古良子 吊り時計	2600354-000001 清原博 置時計(勤続20年記念品)	3200178-001001 武田謙郎 震災当日に止まった時計	3300230-001001 ヘアーショップマツナカ 地震で壊れた目覚まし時計
3400005-001001 福原功二 震災直後に止まった目覚まし時計			

震災発生時刻の午前5時46分52秒を指す時計。震災被害を示すモノ資料として象徴的な存在とみられる止まった時計を、人と防災未来センターでは19点所蔵している。

床に落ち、壁に叩きつけられて外形も壊れたものや、壁にかかったまま針が止まつたものもある。いずれも見る者に、震災発生時刻まで寄贈者に使用され、時を刻んでいたことを感じさせる。

うち1点は背丈ほどもある大きな振り子時計で、センター西館3階の常設展示に置かれている。震災時に倒れて止まった時計は、寄贈者の藤井氏が1960年頃に台湾で購入したものであったという。2000年に寄贈されたときには、「見たびに当時を思い出すのでいい機会と思った」と語られた。

「いつまでも持っていても…」「見るたび震災のことを思い出し悲しくなる」「修理も不可能ですか、処分するにも踏み切れない」

震災から5年が経った頃の寄贈時の言葉からは、長く使用していた時計を処分するにしおなくとておこうかと残したが、時間が経つにつれて、手元に置くよりも保存機関で保存・公開され、地震の衝撃を伝えるものになればと考えようになった心の動きも察せられる。

仮設住宅で生まれたモノ

大規模災害後の仮設住宅では、ご近所の顔ぶれが普段とは違うことが多い。独自のコミュニティが出来上がり、そこで生まれたコミュニケーションを通して作られたものが、現在センターに震災資料として所蔵されている。



0000395-001001
長岡照子(西宮・地域たすけいネットワーク)
枝川町仮設住宅での表札作り



2600079-000005
新日本婦人の会明石支部
マット作り風景

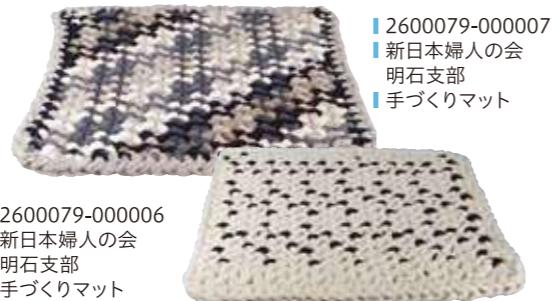


2200650-000001
西村達
きんぎよの色紙
2200650-000002
西村達
桔梗の色紙



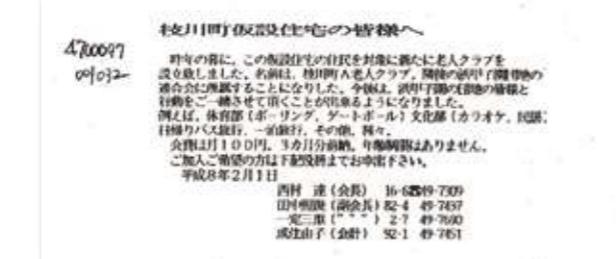
0000395-002001
長岡照子
(西宮・地域たすけい
ネットワーク)
手作り表札(1)

仮設住宅には表札がなく、誰が住んでいるのか一見してわからないことが多い。長岡氏は手作りの表札を仮設住宅の住民に配る活動をされていた。材料はタンスの廃材やカマボコ板。色を塗り絵を描いた札を自転車で運び、希望者の名前をその場で入れて配っていた。



2600079-000007
新日本婦人の会
明石支部
手づくりマット

新日本婦人の会明石支部のメンバーは、奥北野仮設住宅ふれあいセンターで手芸講座や食事会などの活動を行っていた。



4700097-001032
辻延雄
枝川町仮設住宅の皆様への枝川町A老人クラブ設立のお知らせ

西村氏は西宮市枝川町仮設住宅の老人クラブの会長を務められた。老人クラブ例会では色紙を作ったり書道を教えたりしていた。上のお知らせは枝川町に隣接する甲子園浜の仮設住宅に入られた辻氏から寄贈されたものである。

1995年当時の機械

乗り物



発災時、阪急伊丹駅には発車を待つ車両が停まっていた。その車両は廃車となり、部品は販売されたが、2015年12月に当センターに扉が寄贈された。

◀ 0000420-001001
中川治雄
阪急伊丹駅周辺の被災状況
▶ 0000494-000001
山下順
阪急電鉄3109車両前面扉



瓦礫に覆われ、ところどころ亀裂の入った道路の行き来には、自転車や小型のバイクが大活躍した。県警にはイタリアから30台のベスパが送られ、仮設住宅の巡回等に利用された。新聞社も取材にはスクーターを活用していた。

◀ 4700770-001001
兵庫県警察本部
イタリアより寄贈された警ら用バイク
▶ 3400267-001007
産経新聞神戸総局
産経新聞神戸総局取材基地
震災時取材に使用したスクーター



電化製品



0000288-005028
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
炊き出し用 電気釜

0000435-001001
福田和昭
六甲小学校避難所で
使用された炊飯器



◀ 0000419-001001
神生善美
避難生活で使われた扇風機
▶ 0000478-001001
谷口健太
壊れた天井扇
▶ 1200719-000001
ビューティーサロンブチ
セラミックヒーター

情報機器



0000149-001196
青陽東養護学校避難所自治会
NECインクリボンカートリッジ
(未使用)

0000491-001001
K氏
工藤純さんのワープロ



3400267-001016
産経新聞神戸総局
産経新聞
神戸総局取材基地
震災時使用的
パソコンセット

外から届いたメッセージ

兵庫県南部を大規模な地震が襲った、という衝撃的なニュースは世界中を駆け巡り、被災地外の人々から応援のメッセージが多数寄せられた。モノにのせて送られたメッセージもある。

アメリカから

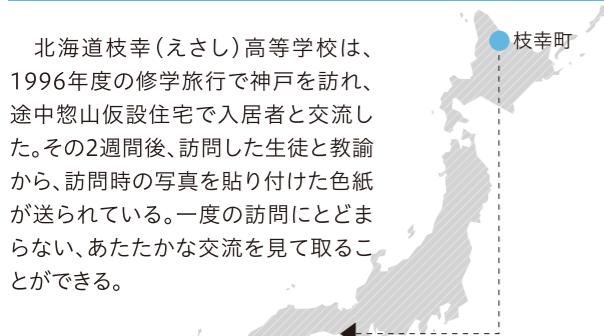


カリフォルニア州南部のハンティントンビーチにある日本語学校オレンジコースト学園から、日本語で綴られた励ましのメッセージが届けられた。日本文化のひとつとして折り紙も学んでいたようで、台紙にはたくさんの折り紙の作品が貼り付けられている。

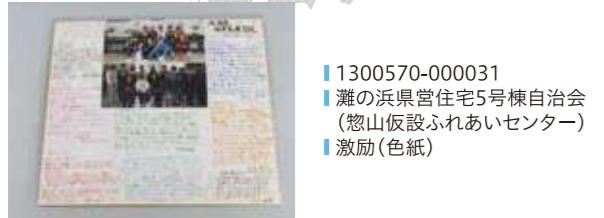


- 0000235-002003 ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
- 0000235-002020 ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
- 0000235-002020 励ましの寄せ書きポスター
(寄せ書き)

北海道から

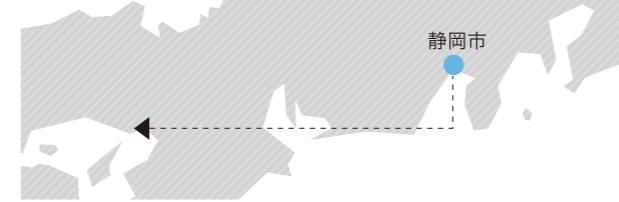


北海道枝幸(えさし)高等学校は、1996年度の修学旅行で神戸を訪ね、途中懇親会で入居者と交流した。その2週間後、訪問した生徒と教諭から、訪問時の写真を貼り付けた色紙が送られている。一度の訪問にとどまらない、あたたかな交流を見て取ることができる。



- 1300570-000031 濱の浜県営住宅5号棟自治会
(懇親会ふれあいセンター)
- 激励(色紙)

静岡から



この3つの千羽鶴は、いずれも静岡市のボランティア団体「青い鳥」から届けられたものだ。青い鳥は震災1周年の1996年1月17日と、1997年1月に千羽鶴を被災地に届けた。センター所蔵の3点はどちらの年のものかはっきりしないが、受け取った団体がそれぞれ大事に保管していたものである。



- 0000204-001003 篠原公園仮設ふれあいセンター
千羽鶴
- 0000233-003001 ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
励ましの千羽鶴 大・中・小

- 0000250-009002 瀬戸内地区ボランティア
折紙 千羽鶴

大阪から



桑山氏が知人から受け取った飲料水の段ボール箱には、「謹んで御見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。」と書かれた紙が貼られている。差出人は小学館関西支社の2名。日付は1月20日とかなり早い。桑山氏は「大変気持ちのこもったもの」として大切に保管していた。



- 1400553-000001 桑山富美子
飲料水(ペットボトル)

内から語られたことば

資料の寄贈時に寄贈者に行った聞き取りの情報は、「調査先情報」として資料室のデータベースで管理している。さまざまな被災体験や、資料への自らの想いとして語られたことばの一部を紹介する。

神明倉庫株式会社 (2300868)(神戸市中央区)

「1995年1月15日に当社レンガ倉庫の門扉が完成。2日後、地震によって倉庫が壊れた。当日、様子を見に行くと、門扉だけ残ってレンガが道路の側へ崩れ、自動車も下敷きに。その時、倉庫がみごとに崩れていった。」



- 2300868-001012 神明倉庫株式会社
倉庫の煉瓦



- 2300868-001001 神明倉庫株式会社
「阪神大震災被災写真」
神明倉庫(株)本社
- 2300868-001007 神明倉庫株式会社
「阪神大震災被災写真」
神明倉庫(株)本社

菊正宗酒造労働組合 (3500688)(神戸市東灘区)

「酒作りの最盛期の時だったが、生産ラインは2ヶ月位ストップ。杜氏さんの手作りの酒だけとなった。また、タンクが壊れ、中の酒が周囲のドブに流れ出し付近は酒のにおいが充満していました。酒作りに一番適している宮水の井戸が8本有るので付近の住民の人達に分け、更衣室に使っていた畳の部屋を開放する等して、喜んでいただきました。」

震災で全壊した酒蔵の瓦。
(瓦は明治時代のもの)

- 3500688-001002 菊正宗酒造労働組合
役瓦



- 4700398-001004 K酒造(株)
写真(震災後の工場内外)

佐々木キヨコ氏 (1500722)(神戸市須磨区)

全壊した自宅から、教会へと避難する際に身の回りの品を入れて運んだカバン。補修にガムテープが貼られている。

- 1500722-000001 佐々木キヨコ
キャスター付旅行カバン

「(カバンは)新しい品でしたが運搬途中家屋倒壊の瓦礫の中を引き回したので、新品が憐れにも擦れて破れてしまいました。自宅も全壊し2日間程は近所の知人宅へ避難し、その後に近くのマリスト教会で避難生活を送っていました。余談になりますが、マリストは他の避難所よりも義援物資が恵まれて居ると聞きました。御弁当には感謝しながらも寒さの中では温かい御粥に梅干が何より嬉しく…。」

坂井修氏 (2400232)(神戸市兵庫区)

被災地で掲げられたメッセージ。裏面は日付入りのホワイトボードで、日常の予定の書き込みが残っている。

- 2400232-000001 坂井修
ボード「救援ありがとう
水を下さい」

「しあわせの村に駐屯していた自衛隊の車が前のバス道を毎日通るので自分の気持ちを表したいとの、水がなくて困ってたのでバス道に立って自衛隊の車に向けてかかげた。(地震後1週間位)

自分達は仕方ないので半壊の家にずっといた。(自治会の)役員さんたちも避難した人たちが多くだったので何の連絡も入らず水の事もわからず大変困った。今だに水で困った事が頭にあるので風呂の水は落とさず、わかつ前にしか水は入れ替えない。」

大きな資料の伝えること



24

サイズの大きな看板やパネル等の資料には、1枚ずつ見ている時には気がつかない資料からのメッセージもある。

わいわい丸五ステーションでWAKKUN(涌島克己氏)が描いた看板(0000290-001481)は11枚ある。2枚一組や1枚ずつ制作された絵と文は、あたたかく味わい深い。

「私たちこの町が大好きです。もちろん人も動物たちも。しんどいことがあるけれど長田もんのしたたかさでのりこえていこなあ!ほら近所のねこでゆうてるでえ。この町がええわゆうてな」

「ガツツくん」は、阪神・淡路大震災後の神戸で生まれ、「がんばろう KOBE」のTシャツのイラストとして全国各地で目にした。WAKKUNは東日本大震災後、被災地応援のために再びライブペインティングも行っている。

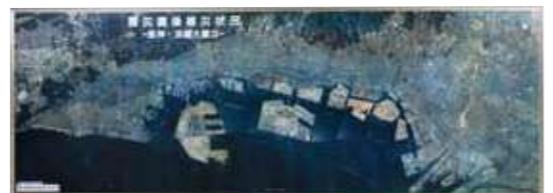
長田に拠点をおく「FMわいわい」は、多文化・多言語コミュニティラジオ放送局である。震災直後から、日本語のわからない外国人住民のために災害情報を多言語で放送した。



2005年に国際航業株式会社からご寄贈いただいた震災の被災状況を記録する航空写真パネル(5200090-002001)は幅3m以上にも及ぶ4枚の大型資料。撮影した時期は、直後の1月21日、1年後の1996年2月1日、3年後の1998年1月。西は須磨区から東は尼崎市までの範囲が写され、大きく変わりゆく被災地の姿を見てとれる。

国際航業株式会社は、発生した自然災害の復旧・復興活動に対し、被災情報を把握するための航空写真撮影等の災害調査活動を継続的に行っている。

0000290-001481
アジアタウン推進協議会(たかとりコミュニティセンター)
看板「わいわい丸五ステーション」



5200090-002001
国際航業(株) 阪神・淡路大震災航空写真パネル

1.17の表象—震災絵画・作品

人と防災未来センターには、阪神・淡路大震災を描いた絵画や造形作品が多数所蔵されている。その制作主体はさまざまである。被災地で暮らしていた人、支援に入った人、離れた地域で報道を見た人、時間が経って当時を思い出して描いた人もいる。震災を撮影した映像や写真とも異なる絵画や作品やモニュメントは、普遍的な衝撃や人間の感情を伝える。1.17の表象とも言えるかもしれない。作品と向き合い、聞きとられた作者の語りを読むと、制作の目的や選ばれた表現手法についての理解のみならず、作者と震災との関係も察せられる。



0000359-001001
森倭子
「崩れ落ちた壁」油彩画
作成:1995年1月

画家の森恵(もり・いさお)さん(1928年～2003年)は神戸の中学校の美術教師だった。森さんが亡くなられた後に、交流の続いているかつての教え子たちが中心となって、遺作の行き先を探していた。その多くは淡路町公民館に保管されるが、1995年1月末から2月のはじめに新長田を歩いたスケッチをもとに描かれたこの作品は、人と防災未来センターにとの意向で寄贈を受けた。



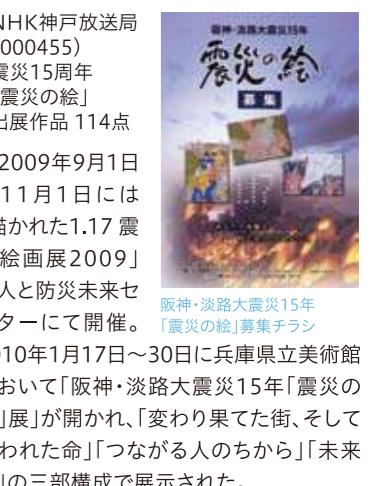
2500001-000001～000079
竹中信清
震災時の絵画ほか

1995年1月18日からボランティア活動をしながら三ノ宮、元町、長田区菅原市場、新長田等で震災の絵画を書かれ、100点以上の震災直後の姿、阪神高速道路倒壊の被害を絵に残された。中国、四国地方などでは絵画展に出品され、譲ってほしいとの声が多くの方々に見られるようにとの思いで震災絵画79点をセンターに寄贈された。

「あの震災は今まで経験した事のない怖さと人間の無力(自然の怖さに対する)を同時に感じた出来事でした。毎日テレビで燃え上がる炎と神戸の街を見て、これから何が何なるかと不安を感じながら過した毎日、その時、そうだ、あの一瞬あのぐらぐらとマンションがゆれ、物が舞いながら落ち、自分の身体も一瞬立つていられなかったあのすさまじさを作品にしようと思い、家の中がまだ片付かない中で制作を始めました。七宝の釉薬も物の下敷になり取り出せないまま、納屋の銅版をひっぱり出し、酸素切断して、物が舞う様に落ちて行く所を作品にしました。」



4700781-001001
小野眞須美
「崩の生命」

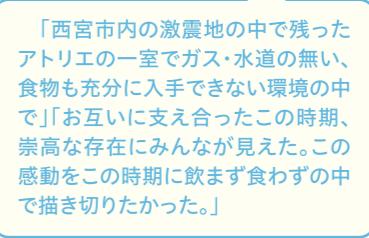


44700423-001003
中島千恵
油彩画
「激震地に咲いた人間愛」
作成:1995年2月



0000415-001001
松村麗子
コラージュ作品「震災からのメッセージ」
作成:1995年6-7月

震災時の火災で焼け残った自分や娘の着物の帯や松村家の袱紗・のれんの切れ端などを使い制作された。



参考文献:吉川圭太「市民が描いた阪神・淡路大震災」(板垣貴志・川内淳史編『阪神・淡路大震災の形成と受容—震災資料の可能性』第5章 岩田書院 2011年)

21年目の食料品

所蔵資料を紹介するなかで、必ずと言っていいほど、驚かれるのが食料品だ。

震災時に救援物資として配られ、受け取られながらも、当時消費されずに残されたモノがセンターに寄贈されている。

震災20年になった昨年、缶詰の継ぎ目が腐食したため、いくつかの中身を廃棄せざるを得ないこととなった。

どんなものでもいすれは朽ちてなくなっていく。特に劣化が早い食品には、現物を保管する難しさも教わった。

保存を目的とされるため、食べるものとしての役目は果たさなくなる資料たち。

しかし、食料品の身近さと生ものの存在感は、当時から今へ続く暮らしを「生」の感覚で伝えているようにも見える。

そして何より、生きることに欠かせない食に、人は興味をそそられる。



2400186-001002
■真柴しま
■大型乾パン



0000312-001001
■川嶋育子
■西宮市立上ヶ原南小学校に
緊急物資として
届けられたカンパン



2100364-000001
■齊藤勝
■オレンジスプレッド

備蓄食品の定番である缶入りの乾パンは、寄贈者が小学校で配布を受けた。しかし近辺で備蓄されていたものか、救援物資として遠方から届いたものは定かではない。どこからもらったのかを寄贈者が考えていたことも、記録に残っている。

また、乾パンにも大型小型、金平糖入りなど資料の中でもそれぞれに違う。オレンジスpreadというジャムのようなものがセットになっているものもあった。



2100341-000217
■高寺与三郎 寿美子
■CRYSTAL GEYSER
(ペットボトルの水)
0000439-000001
■A氏
■避難所で配られた
水詰めビール瓶
2200378-002003
■藤井孝
■アヒルの形をした
ウイスキー入の置き物



0000207-000082
■岡田義一
■救援物資 缶詰

缶詰を並べてみると、当時から多種多様だったことがわかる。調理済みのおかず、果物やジュース、赤ちゃんの粉ミルク、液体の栄養食品など幅広いものが利用されていた。

自衛隊の深緑色の缶詰、日本製ではないパッケージのもの、出所は様々だった。当時の救援物資には海外からの届いたものが多く、缶詰やお菓子、文房具などに外国の文字が入っていることも珍しくなかった。

一方で、別の方から同じ缶詰を寄贈されることもあり、被災地の中にたくさんの物資が届き、分け合っていたことが想像できる。



2400121-000001
■村中宗司
■とり飯(缶詰)
0000220-001003
■中西エイ子
■救援物資 粉ミルク
2400186-001001
■真柴しま
■缶詰午餐肉



2200670-000001
■前田三好
■エンシュア・リキッド
(経腸栄養剤)

震災資料のメッセージ 2013-2015

震災資料への見方を広げる挑戦

資料室では所蔵資料のさらなる利活用を企図し、「震災資料のメッセージ」と題した小さな企画展を3階常設展示の片隅で展開している。モノ資料とそれにまつわるエピソードを紹介しようと2013年度に開始した試みは、年度ごとにテーマを定めていま3年目を終えようとしている。

各年度のテーマは次のとおりである。2013年度「1.17の衝撃」、2014年度「資料で、あのときをのぞいてみよう」、2015年度「食」。それぞれ4期に区分し、専門員が紹介したいモノ資料等を、調査先情報や時代背景をもとに解説してきた。「震災資料」は形態も残した主体もさまざまである。それ

は、震災が引き起こした問題やそれに関わった人々の立場の多様さの表れであろう。したがって、テーマの設定も、毎年新たな視角で行うことができるのではないかと考える。

なぜその資料が人と防災未来センターにやってきたのか、震災当時どのように使われ、作られたのかをひととび知ると、劣化した物体にしか見えなかった資料も途端に意味を発し始める。調査先情報に止まらず、寄贈者に直接お伺いしたり、連絡のとれなくなってしまった方のかつて書き残した想いを二次資料から読みとってみたり、いまできる方法を駆使して辿りうとした経験もまた、資料室の財産になっている。

2013

2013年度テーマ 「1.17の衝撃」

●1期 摺れの衝撃 (2013年5月～7月)

資料名:割れた壺(0000441-000001)
寄贈者:K氏

●2期 火災の衝撃(1) (2013年8月～10月)

資料名:溶けた硬貨(缶入り)(4700349-001002)
寄贈者:大貫計一氏(元本家オランダ館館長)

●3期 液状化の衝撃 (2013年11月～2014年1月)

資料名:液状化によって噴出した砂(3100630-001002)
寄贈者:尼崎市立成徳小学校

●4期 火災の衝撃(2) (2014年2月～2014年7月)

資料名:焼け焦げたキーholder(0000386-001015)
寄贈者:芦田千代子氏

2014

2014年度テーマ 「資料で、あのときをのぞいてみよう」

●1期 被災地へ水を運んだポリ容器 (2014年10月～11月)

資料名:ポリ容器(三重県津市から運ばれた水)(0000341-002001)
寄贈者:加賀尾宏一氏

●2期 日本一周した自転車 (2014年12月～2015年1月)

資料名:阪神・淡路大震災を忘れないで!童話
「地球が動いた日」被災者救援募金で使用された自転車
(0000326-001001)

寄贈者:矢崎正道氏

●3期 当時活躍した機械(FAX) (2015年2月～2015年3月)

資料名:産経新聞神戸総局取材基地 震災時使用のファックス
(3400267-001019)

寄贈者:産経新聞神戸総局

●4期 音の記録 (2015年4月～2015年5月)

資料名:FM放送の収録されたテープ
寄贈者:FMわいわい(たかとりコミュニティセンター)



2015

2015年度テーマ「食」



●1期 命を守るための水 (2015年6月～2015年8月)

資料名:〔震災の絵〕出展作品 水汲み
(0000455-001041)

寄贈者:NHK神戸放送局

資料名:給水袋(2100353-000002)

寄贈者:後藤正春氏

資料名:飲料水用ポリタンク(3400374-002002)

寄贈者:M氏

資料名:避難所で配られた水詰めビール瓶
(0000439-001001)

寄贈者:A氏



●2期 心をいやした救援物資のあまいモノたち (2015年9月～2015年11月)

資料名:ビスケット、しょうが湯(0000220-001008)
ガム(0000220-001006)

寄贈者:中西エイ子氏

資料名:小型乾パン(金平糖入り)
(2100364-000004)

寄贈者:斎藤勝氏



●3期 炊き出し－調理器具1－ (2015年12月～2016年2月)

資料名:炊き出し用大鍋(0000250-022001)

寄贈者:灘中央地区ボランティア

資料名:炊き出で最初に提供されたうどんの器
(1200792-000011)

寄贈者:森原良美氏

資料名:炊き出しの看板(1300322-003611)

寄贈者:神戸元気村

資料名:元気村ボランティアによる炊き出し
(1300322-000166)

寄贈者:神戸元気村



●4期 食卓－調理器具2－ (2015年9月～2015年11月)

資料名:カセットコンロ(0000364-001001)

寄贈者:永井倫子氏

資料名:火災で焼け残った湯飲み(4700138-001004)

寄贈者:松山優子氏

資料名:雪平なべ(2400178-000005)

寄贈者:大藪秀氏



Disaster Reduction and Human Renovation Institution
Pictorial record

第2部 モノ資料写真一覧

01

震災被害を示すモノ資料

30



阪神・淡路大震災の特徴の一つには、強い揺れと火災による大量の建物被害が挙げられる。県内では24万棟以上の家屋が全半壊し、約7500棟が全半焼した。その大半が1981年の建築基準法施行令改正によって耐震基準が変わる以前の基準で設計された建物であった。

倒壊・損傷した家屋から助け出された所有物には、壊れたり、歪んだり、焼けたりした発災直後の痕跡が残る。このほか、瓦礫から掘り出して汚れを修復されたものや、臨海地域の液状化の砂を採取したものもまた震災被害を示すモノ資料である。

震災被害を示すモノ資料 3階 常設展示

[凡例] 調査先番号-資料番号
調査先名称
資料名称



1300387-000004
筒井ボランティアそよ風、桑田宗城
地震発生30秒前に着けた…
命を護ったヘルメット



1300585-000001
吉橋満子
管楽器「フルート」



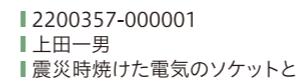
2200378-001001
藤井孝
置き時計



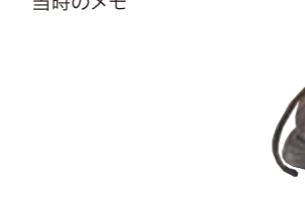
1500667-000006
北村忠敬
娘の身がわりになった目覚まし時計



2200564-000001
勝田純郎
L型補強金具



2200357-000001
上田一男
震災時焼けた電気のソケットと
当時のメモ



2200455-000001
藤原正敏
埋もれていた靴



2200364-000002
福本晃之
側溝のフタ(鉄製)



2400191-000001
岩崎重一
震災で折れたゴルフクラブ



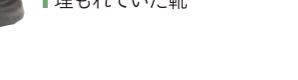
2200647-000001～000003
野崎洋子
ハーモニカ(化粧ケース入)



2400257-000001
西口吉久
焼けたコインのカタマリ



2400297-002002
星川洋子
焼け残りの古銭



2500524-000004
森山修
長田区工場で焼けたレンズ

震災被害を示すモノ資料

モノ箱

0000328-001001
人見陽一郎
壊れた置時計

0000356-001001
武智勝美
壊れた時計

0000386-001002
芦田千代子
「祝大黒小学校
創立30年1966」記の文鎮

0000386-001006
芦田千代子
焼け溶けたガラス瓶

0000386-001010
芦田千代子
焼け溶けた硬貨

0000329-001002
鈴木邦宏
5時46分で止まった掛時計

0000371-001001
峯村静子
溶けたガラスコップ

0000386-001003
芦田千代子
花型文鎮

0000386-001007
芦田千代子
焼けた湯のみ

0000386-001011
芦田千代子
焼けた土鈴

0000327-001001
岡本孝
焼け跡から取り出された
仏壇のおりん

0000349-001001
城南晴
焼けた硬貨

0000349-001001
松田洋一
たんすの転倒を防いだゴミ箱

0000371-001002
芦田千代子
溶けたアルミ

0000386-001004
芦田千代子
焼け溶けて付着したガラス

0000386-001008
芦田千代子
焼け溶けたブローチ

0000386-001012
芦田千代子
「NAGASAKI」鉄製鍋敷き

0000327-001002
岡本孝
焼け跡から取り出された
目覚まし時計のベル

0000355-002001
松田洋一
たんすの転倒を防いだゴミ箱

0000386-001001
芦田千代子
魚型の文鎮

0000386-001005
芦田千代子
陶器に焼け溶けて付着したガラス

0000386-001009
芦田千代子
焼け焦げた刃物

0000386-001013
芦田千代子
焼け焦げた鉄瓶

0000386-001014
芦田千代子
焼け焦げた文鎮

0000386-001018
芦田千代子
焼け焦げた鉄 ボタン ガラス

0000388-001001
抱江篤子
5時46分で止まった目覚まし時計

0000483-001001
中山公子
焼けた硬貨など

1200883-001003
藤原徹也
壊れたビデオカメラ

1300593-000002
北尾輝子
耐火金庫内で燃えた印鑑

0000386-001015
芦田千代子
焼け焦げたキー ホルダー
「EuroDisney12avril92」

0000386-001019
芦田千代子
魚型箸置き

0000402-001001
玉島裕子
焼け焦げたトレーナーの一部

0000485-001001
野崎曙生
地震によって破損した時計

1300491-000001
樋渡和光
日めくりカレンダー

1400412-000008
池田和子
スプーン(焼失した自宅跡より
回収したスプーン)

0000386-001016
芦田千代子
焼け焦げた猪口と徳利

0000386-001020
芦田千代子
丸型皿

0000429-002001
奥田英夫
地震で壊れた時計

1200772-000001
秋山喜雄
置時計(5時46分を表示して
止まった状態)

1300505-000008
松本加代子
震災時の置き時計

1400412-000009
池田和子
5円硬貨(焼失した自宅跡より
回収した硬貨)

0000386-001017
芦田千代子
焼け焦げたスプーン

0000386-001021
芦田千代子
ビーズ

0000441-001001
K氏
割れた壺

1200883-001002
藤原徹也
鉛筆けずり

1300593-000001
北尾輝子
耐火金庫内で燃えた
エマラルドネックレス

1400412-000014
池田和子
へこんだ缶割れたタイル洋皿、
ゆのみのから



1400561-000001
山本康子
たちばさみ(焼け跡から出てきた)

1400561-000002
山本康子
湯のみ(焼け跡から出てきた)

1500508-000001
永井信夫
神殿水入れ

1500508-000003
永井信夫
腕時計バンド



1500508-000004
永井信夫
カギと爪切り



1500563-000001
中村美智子
日めくりカレンダー



1500632-000001
常峰隆
金庫内で焼けた硬貨



1500632-000002
常峰隆
金庫内で焼けた指輪・社章



1500658-000004
中島稔信
ポートアイランドの土砂
(ケース入り)



1600719-000001
斎藤昌夫・桂子
被災したミニ置き時計



1600719-000002
斎藤昌夫・桂子
日めくりカレンダー1995年



1600755-000001
神野大吉
置時計



2100390-000001
仲原晶子
割れた花瓶



2100390-000002
仲原晶子
置時計



2100494-000001
竹林邦浩
震災で壊れたSPレコード盤



2200209-000001
東道雄
掛時計



2200378-002001
藤井孝
象牙の置き物



2200378-002002
藤井孝
花瓶



2200378-002004
藤井孝
水差し



2200382-000001
松本保太郎
東灘区甲南市場の店舗のアルミドアの焼けて溶けて固まった物



2200417-000003
大野信一
自宅から出てきた金属のかけら



2200454-000002
田中住江
破損したアンティーク・ドール 2



2200454-000003
田中住江
破損したアンティーク・ドール 3



2200454-000004
田中住江
破損したアンティーク・ドール 4



2200454-000005
田中住江
破損したアンティーク・ドール 5

2200454-000006
田中住江
破損したアンティーク・ドール 6

2200454-000007
田中住江
破損したアンティーク・ドール 7

2200473-000003
加古良子
吊り時計



2200535-000001
吉村知記
損壊した給湯管

2200562-000001
荒川英二
壊れたミュンヘンの外壁
赤レンガの破片

2200666-000001
山田量英
指輪

2300680-000001
金子典子
陶器製花器



2300680-000002
金子典子
陶器製西洋人形

2400178-000002
大藪秀
手提げカバン

2400178-000004
大藪秀
手提げカバン

2400178-000006
大藪秀
手提げカバン



2400247-000001
高岡昭彦
火災に遭って焼けた500円玉硬貨

2400273-000001
斎藤真木子
焼けた貨幣

2400275-000001
山内又男
焼けたネックレスのケース

2400275-000002
山内又男
焼けた指輪ケース



2400275-000003
山内又男
焼けた指輪

2400275-000004
山内又男
割れた卒業記念の皿

2400275-000005
山内又男
焼けた置物

2400275-000006
山内又男
焼けた花器



2400275-000007
山内又男
焼けた貨幣

2400317-000001
坂井正典
焼けた盆石の石

2500302-002001
坂口裕子
皿 宗時代「ろきんよう」
(700年前)

2500302-002002
坂口裕子
ガラス器(明治時代)



2500302-002003
坂口裕子
ガラス器(明治時代)



2500405-001003
池田照雄
色紙「地鳴る」「童女」



2500405-001004
池田照雄
色紙「落ち葉の語らい」



2500405-001005
池田照雄
色紙「大皿」



2500405-001006
池田照雄
色紙「池田家」



2500405-002003
池田照雄
色紙「ありがとう」



2500405-002004
池田照雄
色紙「掛軸(一輪名月照・禅心)」



2500490-000001
柴山公雄
人形(じょとんば)



2500491-000001
山本義照
震災に伴う火災で焼けた記念硬貨



2500491-000002
山本義照
震災に伴う火災で焼けた記念硬貨



2500491-000003
山本義照
震災に伴う火災で焼けた記念硬貨



2500491-000004
山本義照
震災に伴う火災で焼けた記念硬貨



2500491-000005
山本義照
震災に伴う火災で焼けた記念硬貨



2500506-000002
梶原久
焼けたタバコの自販機の札入れ部分



2500524-000003
森山修
長田区工場で焼けた写真機



2500524-000004
森山修
長田区工場で焼けたレンズ



2600354-000001
清原博
置時計(勤続20年記念品)



2600576-000001
大谷美代子
1995.1.17 日めくりカレンダー



3100630-001002
尼崎市立成徳小学校
液状化によって噴出した砂



3200178-001001
武田謙郎
震災当日に止まった時計



3300202-001001
芝本栄子
震災により全焼した自宅から掘り出された500円記念硬貨



3300202-001002
芝本栄子
震災により全焼した自宅から掘り出されたヒスイのペンダント



3300207-001001
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(1)



3300207-001002
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(2)



3300207-001003
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(3)



3300207-001004
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(4)



3300207-001005
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(5)



3300207-002001
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(6)



3300207-002002
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(7)



3300207-003001
平野政一
全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ(8)



3300230-001001
ヘアーショップマツナカ
地震で壊れた目覚まし時計



3400005-001001
福原功二
震災直後に止まった目覚まし時計



3400015-001001
高橋榮男
亡妻が大切にしていたが震災でこわれた観音像



3500001-001001
宇梶輝雄
自宅階段最上部パイプ手摺りソケット



3500201-001002
カジゲン金物
オルトップ(プラスチック製短下肢装具)



3500688-001001
菊正宗酒造労働組合
瓦



3500688-001002
菊正宗酒造労働組合
役瓦



4700094-001002
長田知子
全焼した自宅で、焼け残った硬貨



4700138-001001
松山優子
火災で焼け残った茶碗



4700138-001002
松山優子
火災で焼け残った老人の人形



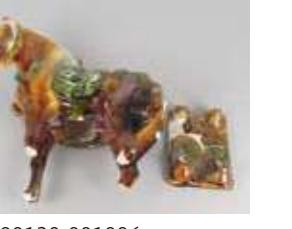
4700138-001003
松山優子
火災で焼け残った女の子の人形



4700138-001004
松山優子
火災で焼け残った湯飲み



4700138-001005
松山優子
火災で焼け残った花立て



4700138-001006
松山優子
火災で焼け残った唐三彩の馬



4700195-002001
児島裕子
震災で割れたお父様の遺品である器(大鉢)



4700243-001004
湊勝(夫人)
ドライフラワーの入った花瓶と2つのイヤリング



4700349-001001
本家オランダ館
溶けたガラス食器



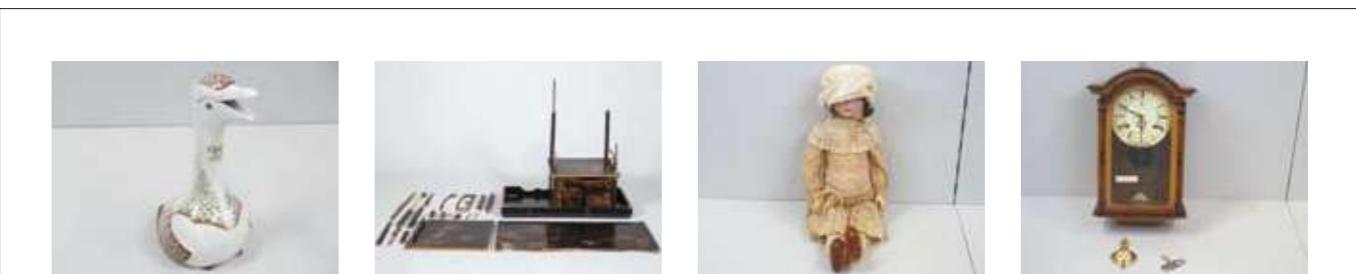
4700349-001002
本家オランダ館
溶けた硬貨(缶入)



4700352-001009
藤本美佐子
仏具 花立て

4700352-001010
藤本美佐子
仏具 お湯呑み

4700352-001011
藤本美佐子
仏具 ごはん入れ



2200378-002003
藤井孝
アヒルの形をした
ウイスキー入の置き物

2200390-000001
新司美千代
金蒔絵の飾り棚

2200454-000001
田中住江
破損したアンティーク・ドール

2200469-000001
日高陽子
震災時に毀損した時計

震災被害を示すモノ資料 モノ大箱



0000331-001001
長澤慶二
壊れた掛時計

0000491-001001
K氏
工藤純さんのワープロ



2300868-001012
神明倉庫株式会社
倉庫の煉瓦

2400350-000001
中島幸次郎
富士ニ梅林図掛軸

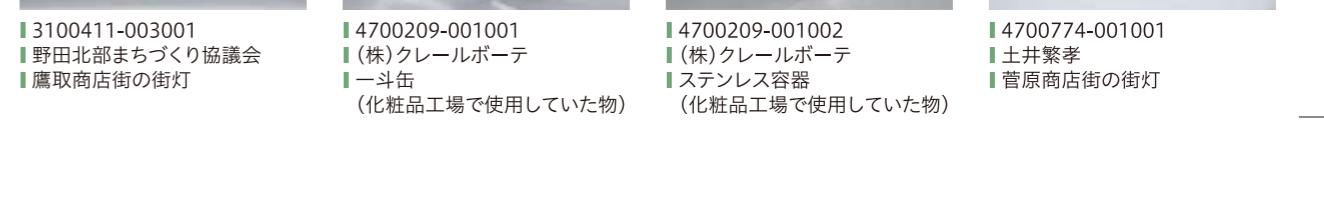
2600372-001001
佐藤久寿美
琴

震災被害を示すモノ資料 箱外



0000337-001001
本荘徹
電信柱からはがれていた
住所表示板

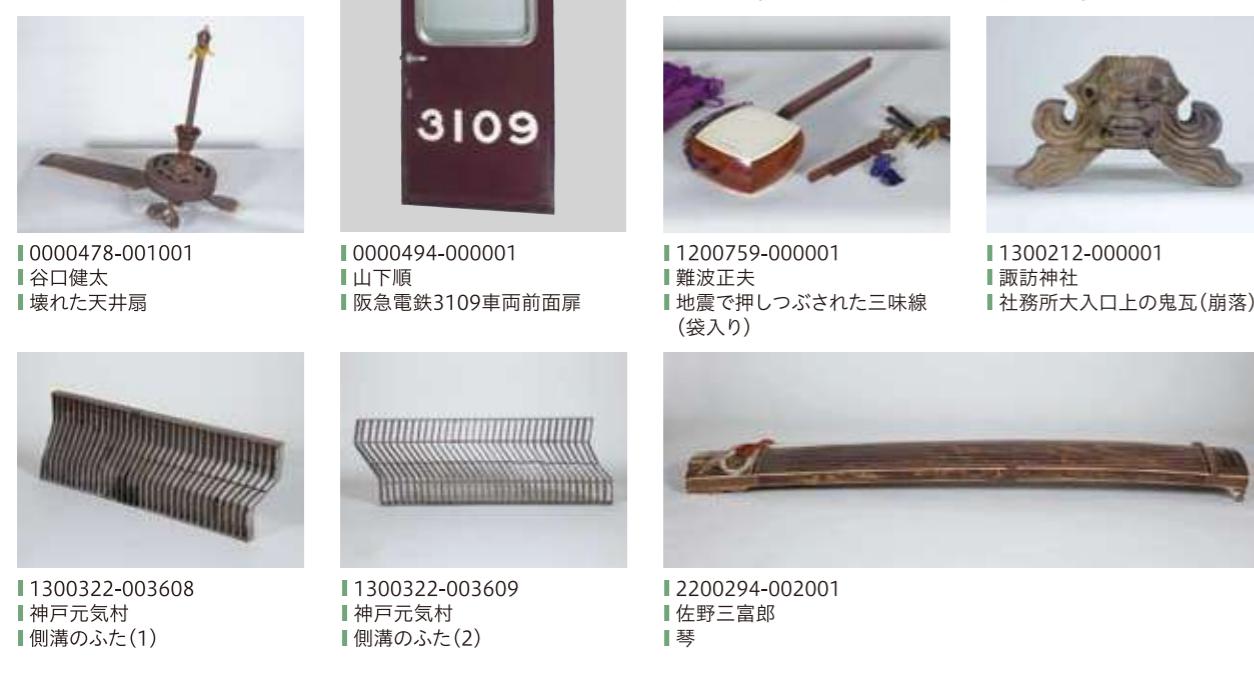
0000337-001002
本荘徹
電信柱からはがれていた
住所表示板



3100411-003001
野田北部まちづくり協議会
鷹取商店街の街灯

4700209-001001
(株)クレールボーテ
一斗缶
(化粧品工場で使用していた物)

4700209-001002
(株)クレールボーテ
ステンレス容器
(化粧品工場で使用していた物)



0000478-001001
谷口健太
壊れた天井扇

0000494-000001
山下順
阪急電鉄3109車両前面扉

1200759-000001
難波正夫
地震で押しつぶされた三味線
(袋入り)

1300212-000001
諏訪神社
社務所大入口上の鬼瓦(崩落)



1300322-003608
神戸元気村
側溝のふた(1)



1300322-003609
神戸元気村
側溝のふた(2)



2200294-002001
佐野三富郎
琴

02

被災地内で 生まれたモノ資料

地震の被害を受けた家屋を出た人々は、学校や公園に避難した。1995年1月23日のピーク時には、県内で31万人以上の避難者、1,153カ所の避難所を数え、その約7割が学校関係施設であった。約半年後に建て揃った仮設住宅での生活は最長約5年間続いた。

避難所や仮設住宅の暮らしでは、ここだからこそ必要となった看板や表札やポスター、生活を彩る楽器、手芸品など数多くのものが生まれた。自分たちの状況や取組みを紹介するために撮影・記録した写真をパネルにしたものや、描いた絵画や紙芝居や壁新聞もある。また、ボランティアに参加した人々は延べ138万人以上にも達したといい、彼らの想いが残された寄せ書きや、ボランティア基地で使われたものも見られる。

これらの多種多様なモノは、被災地内の集団生活の痕跡を伝えている。



被災地内で生まれたモノ資料 3階 常設展示



1200563-000057
西宮文化協会
阪神大地震図巻



1200687-000004
前田末雄
手芸品のサンプル



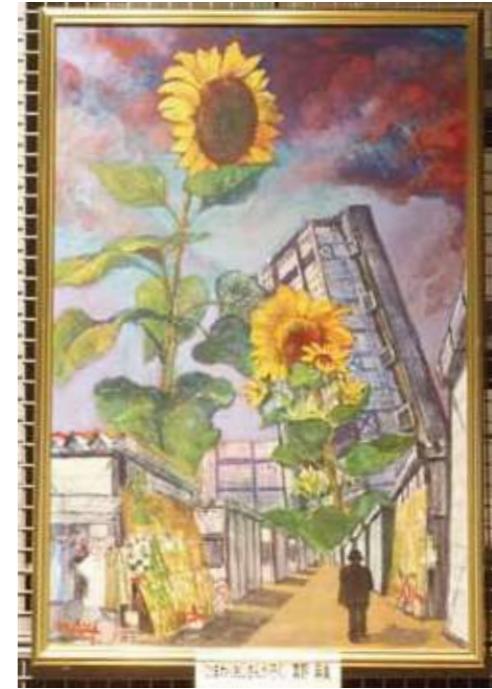
1200719-000001
ピューティーサロンブチ
セラミックヒーター



1400385-003003
駒中ふれあいボランティア
ドラム缶を利用したスティールドラム



1400183-000001
法華宗(本門流)西代感應寺
缶詰



0000307-001001
荒井勘
「ひまわりオジサンが行く」



1400385-003003
駒中ふれあいボランティア
ドラム缶を利用したスティールドラム



1300448-001001
兵庫県おもちゃライブラリー
布のおもちゃづくりボランティア『ほたる』
作品名「王子動物園」

[凡例] 調査先番号-資料番号
調査先名称
資料名称



1400385-003006
駒中ふれあいボランティア
手作りパイプ楽器(中)



1400501-002001
北山繁夫(五番町6丁目自治会)
発泡スチロール食器



1500022-000037
ゆいまーる神戸
ハイゼックス包装食の作り方
(調理袋)



1500039-001002
阪神高齢者障害者支援
ネットワーク
「花」歌詞プレート

被災地内で生まれたモノ資料
3階 常設展示



1500039-001004～001005
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
鯉のぼりセット



1500039-001008
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
民芸調 鯉のぼり玩具



1500557-000002
大内歌子
ソーディングセット
(救急日用具セット)



1600002-000047
明石市社会福祉協議会
第3回西二見市
住みあいのつどい 箸袋作り



1600002-000046
明石市社会福祉協議会
震災復興夏祭り
落語歌謡ショウ・
盆踊り・うちわ作り



2400180-000001
千田尚文
千田のパン店の袋

2300767-000002
西田和郎
救援の弁当が入っていた
ダンボール箱



150039-002002
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
木製椅子(ベンチ)

[凡例] 調査先番号-資料番号
調査先名称
資料名称



1600002-000051
明石市社会福祉協議会
ふれあいのつどい 色紙作り



1600002-000052
明石市社会福祉協議会
ふれあいのつどい 色紙作り



2200480-000001
松田和子
炊飯器



2200361-000012～000014
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱
No.17～19

被災地内で生まれたモノ資料
モノ箱



0000013-001001
兵庫県・阪神・淡路大震災
復興本部復興推進課
兵庫フェニックスプランのトレーナー



0000017-002003
財団法人21世紀ひょうご
創造協会
清酒ブルーカップ空き容器



0000029-001059
柴田和子
「まけないぞう」のタオル(手ふき)



0000055-003062
川上文夫(六甲小学校避難所)
ラガールカード
(プリペイドカード)



0000063-002016
緑が丘ふれあいセンター
緑が丘ふれあいセンターにて
納涼夏まつりの時に使われたうちわ



0000078-001006
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
「神戸夜景」写真パネル6-1～6-7



0000093-001223
西宮救援をささえる会
絵手紙



0000093-001224
西宮救援をささえる会
月夜のテントの絵



0000149-001150
青陽東養護学校避難所自治会
ビニール袋封筒



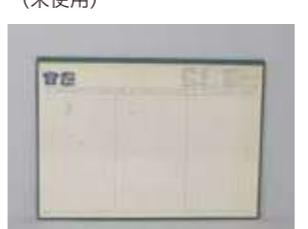
0000149-001196
青陽東養護学校避難所自治会
NECインクリボンカートリッジ
(未使用)



0000149-002034
青陽東養護学校避難所自治会
内用薬の袋と薬



0000149-002035
青陽東養護学校避難所自治会
のみぐりの袋



0000149-002068
青陽東養護学校避難所自治会
電話表ボード(未記入)



0000149-003182
青陽東養護学校避難所自治会
保冷庫の鍵



0000149-003183
青陽東養護学校避難所自治会
クリップ

0000009-001004
氏
神戸まつりの案内のうちわ



0000029-001060
柴田和子
元気アップ神戸のTシャツ



0000082-001071
ろっこう芦屋ユースホステル
がんばろや ダイエー袋



0000149-001195
青陽東養護学校避難所自治会
NECインクリボンカートリッジ
(未使用)



0000149-002044
青陽東養護学校避難所自治会
外用薬の袋



0000149-003566
青陽東養護学校避難所自治会
炊飯器のこげとり
(未使用、説明書付)



0000149-003676
青陽東養護学校避難所自治会
「避難所 個別面談調査の
お知らせ」ポスター



0000149-003808
青陽東養護学校避難所自治会
プラスチックの器具



0000165-004001
妙法寺川公園仮設住宅自治会
妙法寺川公園仮設住宅自治会
ゴム印セット



0000167-001047
仮設西神第一住宅自治会
元気でね



0000181-001001
春日野公園仮設住宅
手芸品



0000181-001002
春日野公園仮設住宅
手作りカード



0000181-001003
春日野公園仮設住宅
短冊



0000181-001004
春日野公園仮設住宅
色紙



0000181-001005
春日野公園仮設住宅
色画用紙壁紙飾り



0000204-001002
篠原公園仮設ふれあいセンター
手芸品(ハサミ入れ)



0000204-003826
篠原公園仮設ふれあいセンター
不在時用の札「すぐ帰りますので
しばらくお待ち下さい」



0000216-003002
しあわせの村仮設
しあわせの村自治会腕章



0000216-003003
しあわせの村仮設
しあわせの村自治会提灯



0000218-002001
北神戸第5仮設住宅
うちわ(地震まつり、'97ピック
サマーフェスティバル他)



0000218-002002
北神戸第5仮設住宅
手芸品(ボランティアの人が
つくったおひなさま)



0000220-001010
中西エイ子
ゴミ収集日の看板



0000233-001010
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
折り鶴一式



0000233-001011
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
ラジオ体操出席確認印



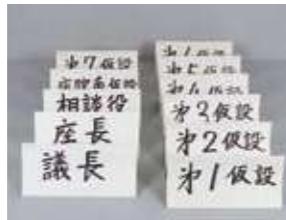
0000233-004006
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
手製の垂れ幕



0000233-004016
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
ゴミ専用収集袋(家庭用)



0000233-005001
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
ポートアイランド仮設住宅自治会座席札



0000233-005241
ポートアイランド第4仮設住宅
ふれあいセンター
ポートアイランド仮設住宅自治会座席札



0000235-002001
ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
毛糸の人形(ビニール袋入りヒモ付き)



0000235-002026
ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
お手玉10個



0000235-003041
ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
毛糸の人形(ビニール袋入りヒモ付き)



0000235-003052
ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
折り紙



0000235-003146
ポートアイランド第2仮設住宅
ふれあいセンター
冠婚葬祭ゴム印セット



0000248-012249
下中島公園避難所
うちわ(防災フェア東京'95)



0000248-015004
下中島公園避難所
「すましんげんちまつり」の
ポスター



0000248-016001
下中島公園避難所
お守り様 ペンダント



0000248-016055
下中島公園避難所
写真現像店のビニール袋



0000248-019100
下中島公園避難所
カレンダー(書き込み有)



0000248-019231
下中島公園避難所
色紙 もみじの押し花



0000248-019232
下中島公園避難所
色紙 バラの押し花



0000248-019423
下中島公園避難所
色紙(折り紙つき)



0000248-019551
下中島公園避難所
お祝い袋



0000248-020162
下中島公園避難所
うちわ「1997年8月17日
地震まつり」



0000248-020163
下中島公園避難所
うちわ「1998年8月23日
地震夏まつり」



0000248-022249
下中島公園避難所
盆踊りうちわ



0000250-000007
灘中央地区ボランティア
ボランティアの人の名札



0000250-003068
灘中央地区ボランティア
検査証入



0000250-004099
灘中央地区ボランティア
災害復興住宅入居者募集ポスター



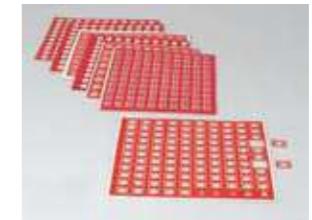
0000250-000006
灘中央地区ボランティア
ボランティアの人がつかっていた
インスタントカメラ



0000250-005225
灘中央地区ボランティア
ちょうちん



0000250-005226
灘中央地区ボランティア
カバン



0000250-005227
灘中央地区ボランティア
ビンゴゲームのシート



0000250-005228
灘中央地区ボランティア
紅白の幕



0000250-005229
灘中央地区ボランティア
踊り用バトン



0000250-005230
灘中央地区ボランティア
VHSテープ、アルバム、ファイル



0000250-007050
灘中央地区ボランティア
個人写真カード



0000250-007051
灘中央地区ボランティア
車検証類一式



0000250-010015
灘中央地区ボランティア
バインダー



0000250-010016
灘中央地区ボランティア
DAKS LONDONの箱



0000250-010017
灘中央地区ボランティア
DAKS タオルハンカチ



0000250-010018
灘中央地区ボランティア
肩たたき



0000250-011070
灘中央地区ボランティア
番号通知方法確認用の電話機貼付シール



0000250-011262
灘中央地区ボランティア
らくがき帳(イカ焼きと記入有)



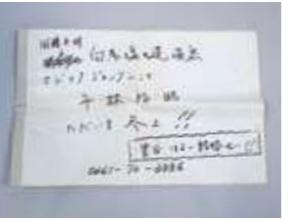
0000250-011263
灘中央地区ボランティア
眼鏡、PHS、工具ほか



0000250-012001
灘中央地区ボランティア
民主党選挙ポスター



0000250-012002
灘中央地区ボランティア
民主党選挙ポスター



0000250-012014
灘中央地区ボランティア
1998年カレンダー



0000250-012037
下中島公園避難所
ビニール手袋ほか



0000250-012038
灘中央地区ボランティア
クリアポケット、靴下



0000250-012042
灘中央地区ボランティア
手袋、アルバム、ラップ、文房具ほか



0000250-016016
灘中央地区ボランティア
"地震"怒りのまつりのポスター



0000282-008006
神戸商工会議所
封筒(神戸商工会議所ロゴ付)



0000282-008040
神戸商工会議所
封筒(神戸商工会議所ロゴ付)



0000282-009454
神戸商工会議所
ファイルボックス



0000282-011375
神戸商工会議所
決算書 ファイルボックス



0000288-004001
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
「コンパネハウス」No.1-2倉庫



0000288-004002
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
「コンパネハウス」No.1-2倉庫
「コンパネハウス」説明



0000288-004003
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
「コンパネハウス」No.3集会所



0000288-004004
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
「コンパネハウス」No.4事務スタジオ



0000294-002001
筒井公園仮設住宅
毛糸のたわし



0000294-002002
筒井公園仮設住宅
荷造りひもでつくった草履



0000294-002003
筒井公園仮設住宅
わりばしでつくった壁掛け



0000303-005043
S氏
復興カルテ研究 研究員名札



0000326-004001
矢崎正道
日本一周の際に使用した
救済募金箱



0000344-002002
山田勉
震災復興 神戸本線開通記念
ラガールカード2000



0000344-002003
山田勉
震災復興 神戸本線開通記念
ラガールカード2000



0000364-001001
永井倫子
カセットコンロ



0000369-001195
塚本容山
よなか百景テレホンカード



0000395-002001
長岡照子(西宮・地域たすけあい
ネットワーク)
手作り表札(1)



0000395-002002
長岡照子(西宮・地域たすけあい
ネットワーク)
手作り表札(2)



0000395-002003
長岡照子(西宮・地域たすけあい
ネットワーク)
手作り表札配用看板



0000414-001001
ドリーズイースト
手提げ袋兼用防災ずきん
ぐらっとバッグ「かぶっちょき」



0000414-001002
ドリーズイースト
手提げ袋兼用防災ずきん
ぐらっとバッグ「かぶっちょき」2



0000414-001003
ドリーズイースト
ぐらっとバッグ「かぶっちょき」
手づくりキット



0000414-001004
ドリーズイースト
手提げ袋兼用防災ずきん ぐらっと
バッグ「かぶっちょき」使い方参考資料



0000419-001008
神生善美
支援物資のジャケット
(元気アップ神戸)



0000431-001142
楠田育宏
六甲道南地区を考える会鉢巻



0000438-001025
井上晋
FM796フェニックススタッフ証



0000460-001001
中村司
震災時の電気復旧工事で使用していた
作業用ジャンパー(関西電機保安協会)



1100433-000001
山下バプテスト教会
ボランティア毛糸帽子
呼び掛け実物



1100433-000002
山下バプテスト教会
ボランティア毛糸帽子
呼び掛け編みかけ



1100542-001003
VGどんぐり
被災状況



1100542-001005
VGどんぐり
被災状況



1100542-001006
VGどんぐり
被災状況



1100542-001007
VGどんぐり
被災状況



1100542-001008
VGどんぐり
被災状況



1200121-000001
理性院
神戸元氣院理性院のTシャツ



1200181-000001
雑巾を縫う会東神戸
雑巾



1200181-000013
雑巾を縫う会東神戸
キャンディーのラッピングサンプル



1200181-000014
雑巾を縫う会東神戸
ソーイングセット



1200386-000002
浄土真宗本願寺光明寺
花まつり



1200428-000001
日本基督教団西宮公同教会
地震まつりのうちわ



1200428-000002
日本基督教団西宮公同教会
地震まつりのうちわ



1200792-000011
森原良美
炊き出しで最初に提供されたうどんの器



1300322-000155
神戸元氣村
神戸元氣村のボランティアのメンバーたちのガムテープ名札



1300322-000156
神戸元氣村
神戸元氣村のボランティアが震災で親を亡くした子どもは多い



1300322-000157
神戸元氣村
いろんなボランティアが神戸を元気づけました



1300322-000158
神戸元氣村
毎日長い列ができる自衛隊の給水車



1300322-000159
神戸元氣村
様々なボランティアが神戸元氣村に来ました



1300322-000160
神戸元氣村
二階建の木造家屋が一階をつぶして道路に出た



1300322-000161
神戸元氣村
支援物資の米が届いたー！



1300322-000162
神戸元氣村
陸上自衛隊神戸商業高校テント村



1300322-000163
神戸元氣村
救援物資を届けに！



1300322-000164
神戸元氣村
神戸元氣村のボランティアテント村の一コマ



1300322-000165
神戸元氣村
落ちた高速につぶされた車



1300322-000166
神戸元氣村
連日の炊き出し風景
一回の食事に2千人が並ぶ



1300322-000167
神戸元氣村
神戸元氣村へようこそ
ボランティア受付テントへ
全国から数千人がやって來た



1300322-000168
神戸元氣村
「がんばれ神戸元氣を出そう」コンサート
避難所の校庭に活気が戻る



1300322-000169
神戸元氣村
「がんばれ神戸元氣を出そう」コンサート
元氣村を訪ねました



1300322-000170
神戸元氣村
洗濯機



1300322-000171
神戸元氣村
多くの犠牲者を出した菅原商店街地区
今でも空き地が目立ち、土は赤っぽい
(震災後一週間)



1300322-000172
神戸元氣村
倒壊した家屋



1300322-000173
神戸元氣村
皆に喜ばれる「散髪ボランティア」
石屋川公園にて



1300322-000174
神戸元氣村
ブルーシートの上で交流の輪



1300322-000175
神戸元氣村
高速道路から今にも落ちそうなバス



1300322-000176
神戸元氣村
倒壊した家屋



1300322-000177
神戸元氣村
根こそぎつぶれたビル



1300322-000178
神戸元氣村
倒れた石碑



1300322-000179
神戸元氣村
倒れた石碑



1300322-000180
神戸元氣村
被災地の猫



1300322-000181
神戸元氣村
解体中のビル



1300490-004176
神戸YMCA
三段重ミニチュア
取手及び盆付 紙箱入



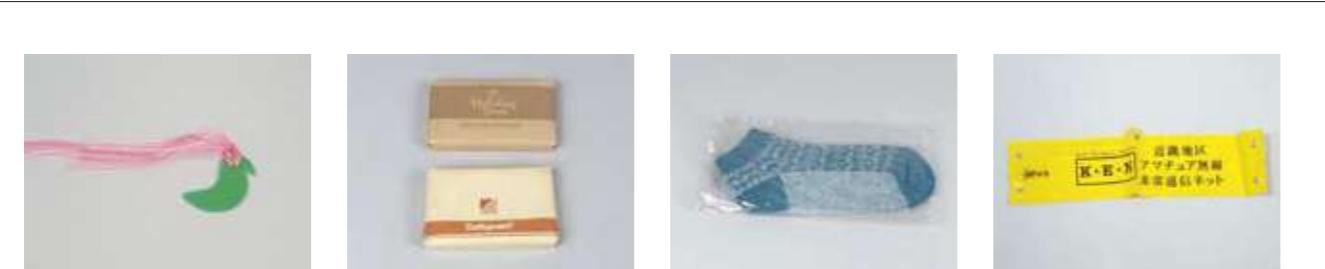
1300490-005366
赤い下敷き



1300490-018203
神戸YMCA
アルバム



1300505-000005
松本加代子
婦人キャロン肌着



1300570-000166
灘の浜県営住宅5号棟自治会
(惣山仮設ふれあいセンター)
みかんむき器



1300588-000001
辻内とよ子
石けん



1300588-000002
辻内とよ子
くつ下



1300623-000166
谷通好
「近畿地区アマチュア無線
非常通信ネット」腕章



1400025-000004
田中久子
巡る時間刻む思い
(新聞切り抜きパネル)



1400183-000002
法華宗(本門流)西代感應寺
ヘルメット(Jリーグ)



1400183-000003
法華宗(本門流)西代感應寺
ジャンパー



1400222-000010
浄土宗済麟寺
数珠玉の腕輪念珠



1400224-001001
被災地NGO協働センター
「まけないぞう」セット



1400224-001002
被災地NGO協働センター
竹炭



1400393-001095
春風会
バンダナ



1400403-000001
KOBEハナの会
震災後も使用されたタイヤ



1400403-000002
KOBEハナの会
震災後も使用された鍋



1400472-001001
河村隆
水のいらないシャンプー



1400508-002001
今井しづえ
クリスマスタペストリー



1400508-003001
今井しづえ
クリスマスブーツ



1400508-004001
今井しづえ
人形



1400508-006001
今井しづえ
おりがみ



1500039-001006
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
矢車回転球付き



1500179-000002
日本基督教団須磨教会
パッチ



1500461-000005
美山台グループ
クリスマスオーナメント



1500477-000001
ハーブの会
布ふきん



1500513-000001
高橋信夫
非常用備蓄食 アルファ米



1500722-000001
佐々木キヨコ
キャスター付旅行カバン



1600339-000004
金光教浅野教会
阪神大震災金光教首都圏支援
グループよりのお見舞サイフ



2100280-000023
田巻次郎
兵庫県南部地震連絡用
ビニール袋



2100353-000002
後藤正春
給水袋



2100364-000002
斎藤勝
缶詰(しいたけ飯)



2100636-001001
宇佐美重
2002年の神戸港



2100636-003001
宇佐美重
HAT神戸



2100636-003002
宇佐美重
川崎製鉄葺合工場・神戸製鋼所神戸工場



2200036-000003
新日本婦人の会西宮支部
ティッシュ入れ



2200108-000009
芦屋市商工会
「RE-ASHIYA」ステッカー



2200184-000001
日本医療気功協会
気と笑いとくつろぎの
ちゃりていたいむ(ポスター)



2200271-000001
塚本勲
Tシャツ(「阪神大震災救援感謝」
ロゴ入り)



2200300-000001
西田マリ子
ふた付なべ



2200300-000002
西田マリ子
ふた付なべ



2200650-000001
西村達
きんぎょの色紙



2200650-000002
西村達
桔梗の色紙



2300017-001027
神戸港運関連事業協同組合
神戸復興チャリティーイベント
Tシャツ



2300777-000001
峰松高子
石(みちびきの石)



2300800-001001
渡辺勝則
発泡スチロール製皿



2400178-000003
大藪秀
やかん



2400178-000005
大藪秀
雪平なべ



2400198-001001
桜井健
紙芝居「阪神淡路大震災」



2600079-000006
新日本婦人の会明石支部
手づくりマット



2600079-000007
新日本婦人の会明石支部
手づくりマット



被災地内で生まれたモノ資料 モノ大箱





0000366-001001 ROBERT ORTIZ VIDAL
…never more a Phoenix died

1100542-001009 VGどんぐり
被災状況

1300204-000001 日本キリスト教団神戸東部教会
看板(紙製)

1300387-000008 筒井ボランティアそよ風、桑田宗城
「桑田さんから贈られた手記」に対するお礼状



1300447-000001 なかよしシルバーグループ
なかよしシルバーグループ看板

1300448-002001 兵庫県おもちゃライブラリー布の
おもちゃづくりボランティア『ほたる』
布の絵本「なにに」

1500037-000258 神戸商科大ボランティア
(くれよんくらぶ)
キャラクター(かみ人形)

1500037-000263 神戸商科大ボランティア
(くれよんくらぶ)
お芝居、キャラクターと小道具



1500037-000264 神戸商科大ボランティア
(くれよんくらぶ)
となりのせきのますだくん(紙芝居)

1500037-000265 神戸商科大ボランティア
(くれよんくらぶ)
あなたにおちたぞう(紙芝居)

2100636-002001 宇佐美重
キューバ糖積込風景

2100636-002002 宇佐美重
第4突堤R岸壁から見た函南丸



2100636-002003 宇佐美重
最後の南米移民船「さんとす丸」

2100636-002004 宇佐美重
「さんとす丸」第4突堤離れる

2100636-002005 宇佐美重
港湾地帯の接收

2100636-002006 宇佐美重
海岸通りに沿ってはしるSL



2100636-002007 宇佐美重
捕鯨母船函南丸初入港

2100636-002008 宇佐美重
カロニア号初入港

2100636-002009 宇佐美重
第5突堤S・V上屋再接收

2100636-002010 宇佐美重
R.T.O.の廃止



2100636-002011 宇佐美重
米国製ディーゼル機関車

2100636-002012 宇佐美重
昭和25年頃の新港第4突堤

2100636-002013 宇佐美重
住友倉庫前の危険物集積所

2100636-002014 宇佐美重
入換SLに無線移動局搭載



2100636-002015 宇佐美重
英連邦軍(B.C.O.F.)

2100636-002016 宇佐美重
米軍冷蔵庫洗浄作業風景

2100636-002017 宇佐美重
P・Xトレイン

2100636-002018 宇佐美重
米国冷蔵車氷積み風景



2100636-002019 宇佐美重
突堤内貨車入換作業の安全対策

2100636-002020 宇佐美重
川西冷蔵倉庫

2100636-002021 宇佐美重
第1突堤京橋上屋

2100636-002022 宇佐美重
農林水産省神戸農林規格検査所
(旧神戸生糸検査所)



2100636-002023 宇佐美重
第5突堤V岸壁に米国冷凍船

2100636-002024 宇佐美重
新港第4突堤

2100636-002025 宇佐美重
R.T.O.の設置

2100636-002026 宇佐美重
鐘のなるS.L.



2100636-002027 宇佐美重
イースト・キャンプ内に残った
光徳寺

2100636-002028 宇佐美重
六甲マリンパーク(東灘区向洋町)

2100636-002029 宇佐美重
布引の滝

2100636-002030 宇佐美重
兵庫運河とJR和田岬線



2100636-002031 宇佐美重
五色塚古墳(垂水区)

2100636-002032 宇佐美重
石川ビル(旧東京倉庫兵庫出張所)

2100636-002033 宇佐美重
移情閣と明石海峡大橋
兵庫区島上町1丁目

2100636-002034 宇佐美重
サンタ・マリア号



2100636-002035 宇佐美重
布引ハーブ園

2100636-002036 宇佐美重
布引ハーブ園
(中央区葺合町宇山郡)

2100636-002037 宇佐美重
水の科学館(兵庫区楠谷町37)

2100636-002038 宇佐美重
しあわせの村



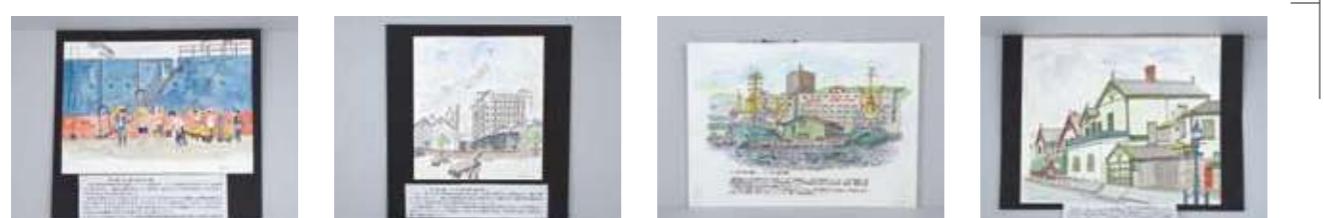
2100636-002039
宇佐美重
メリケンパーク
2100636-002040
宇佐美重
ボルトガル文豪モラエス
(1854~1929年)
2100636-002041
宇佐美重
海岸ビルディング
(旧日豪会館)中央区
2100636-002042
宇佐美重
海岸通りの商船三井ビル



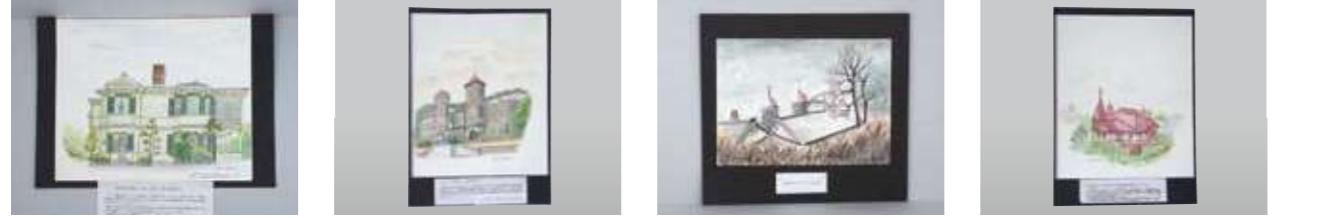
2100636-002043
宇佐美重
神戸市農業公園(神戸ワイン城)
2100636-002044
宇佐美重
京橋から中突堤を望む
2100636-002045
宇佐美重
コンテナ第1船摩耶埠頭に入港
2100636-002046
宇佐美重
捕鯨母船



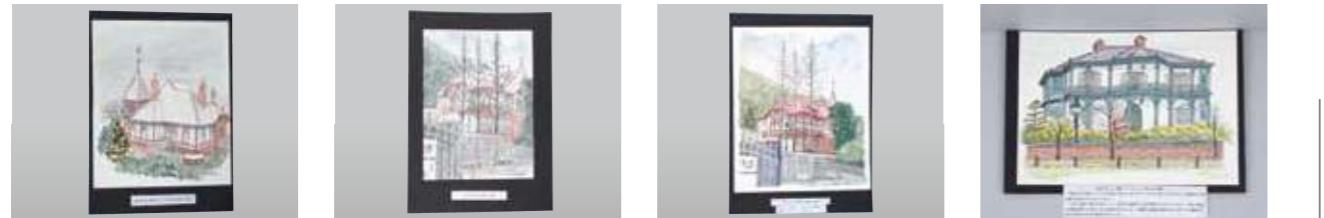
2100636-002047
宇佐美重
鯨肉輸送
2100636-002048
宇佐美重
昭和31年4月17日
2隻の捕鯨母船並ぶ
2100636-002049
宇佐美重
キャッチャーボートと
2隻の捕鯨母船
2100636-002050
宇佐美重
三井倉庫の荷役作業



2100636-002051
宇佐美重
突堤の荷役作業
2100636-002052
宇佐美重
三井倉庫(旧東神倉庫)
2100636-002053
宇佐美重
三井桟橋、三井倉庫
2100636-002054
宇佐美重
旧A・N・ハンセル邸
(神戸市中央区山本通3丁目)



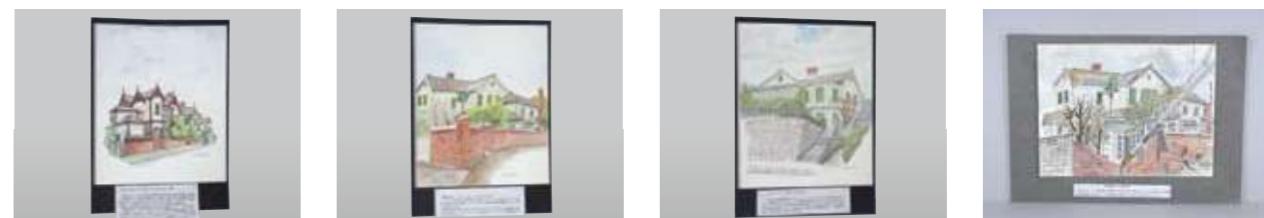
2100636-002055
宇佐美重
萌黄の館(旧シャープ邸)
中央区山本通4丁目
2100636-002056
宇佐美重
うろこの家(中央区北野町2丁目)
2100636-002057
宇佐美重
雪景のうろこの家
2100636-002058
宇佐美重
天満宮から眺める風見鶏の館
(旧トマス邸)



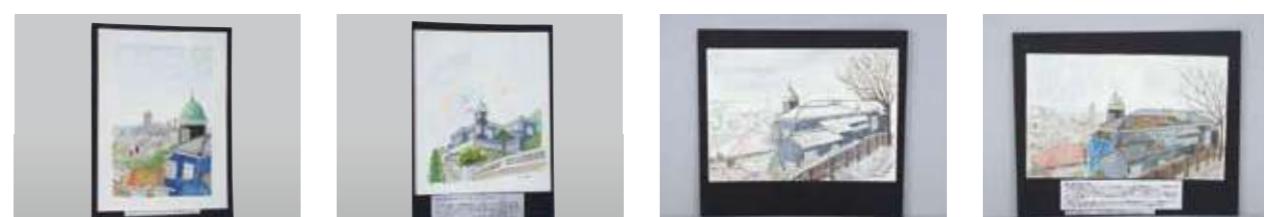
2100636-002059
宇佐美重
雪景天満宮より風見鶏の館
2100636-002060
宇佐美重
雪景風見鶏の館
2100636-002061
宇佐美重
初冬の風見鶏の館
2100636-002062
宇佐美重
旧J・K・ハッサム邸



2100636-002063
宇佐美重
相楽園
2100636-002064
宇佐美重
レンガ塀が崩れた「内部」、
その隣「ハンセル邸」
2100636-002065
宇佐美重
ラインの館
2100636-002066
宇佐美重
ラインの館



2100636-002067
宇佐美重
門邸(旧ディスレフセン邸)・
華僑総会(旧ゲンセル邸)
神戸市中央区北野町4
2100636-002068
宇佐美重
華僑総会(旧ゲンセル邸)
旧ゲンセル邸(中央区北野町4)
2100636-002069
宇佐美重
華僑総会裏門
2100636-002070
宇佐美重
華僑総会裏門



2100636-002071
宇佐美重
みなとみはらし台より展望塔の家
2100636-002072
宇佐美重
展望塔の家(旧リューク邸)
神戸市中央区北野町2-18-6
2100636-002073
宇佐美重
雪景みなとみはらし台より
2100636-002074
宇佐美重
展望塔の家



2100636-002075
宇佐美重
居留地15番地館
2100636-002076
宇佐美重
下山手教会の被害
2100636-002077
宇佐美重
下山手カトリック教会
(聖ヘンリコ聖堂)
2100636-002078
宇佐美重
栄光教会



2100636-002079
宇佐美重
栄光教会
2100636-002080
宇佐美重
栄光教会
2100636-002081
宇佐美重
中山手カトリック教会
(聖ヘンリコ聖堂)
2100636-002082
宇佐美重
HAT神戸



2100636-002083
宇佐美重
川崎製鉄株式会社(被災前)
2100636-002084
宇佐美重
神戸製鋼所神戸工場(被災前)
2100636-002085
宇佐美重
兵庫第一突堤の夕景
2100636-002086
宇佐美重
KOBEの原風景

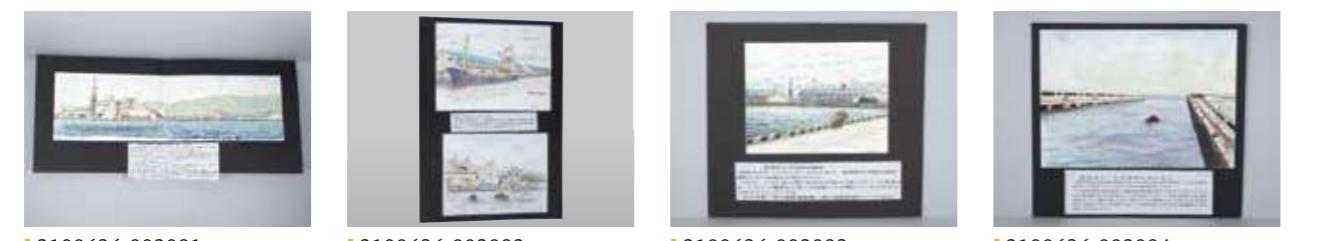


2100636-002087
宇佐美重
京橋2号上屋解体

2100636-002088
宇佐美重
兵庫第2突堤

2100636-002089
宇佐美重
新港第1突堤F上屋

2100636-002090
宇佐美重
新港第2突堤と第3突堤の間
(住友倉庫前)、新港第5突堤の
クレーン海中に落ち

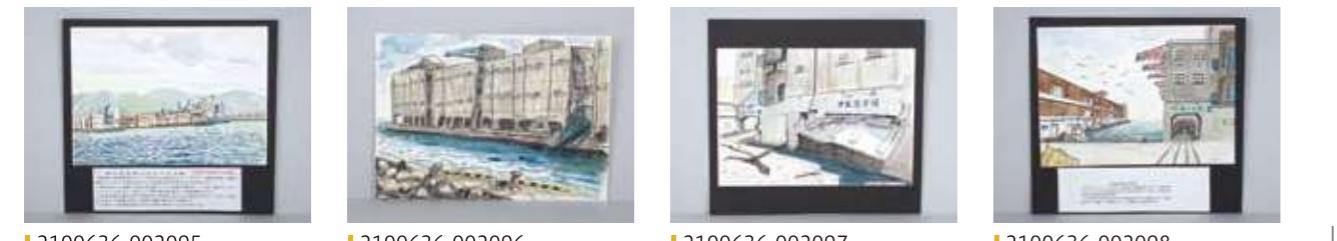


2100636-002091
宇佐美重
新港第5突堤および第6突堤

2100636-002092
宇佐美重
新港第6突堤の上屋が傾く

2100636-002093
宇佐美重
「新港第6突堤接收解除」

2100636-002094
宇佐美重
新港第5~8突堤間を埋め立て

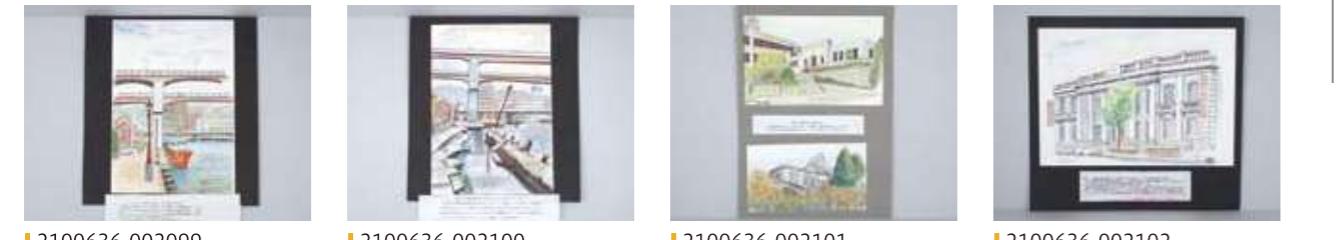


2100636-002095
宇佐美重
第7東突堤のサイロ全壊
(阪神大震災で全壊)

2100636-002096
宇佐美重
第7突堤倉庫

2100636-002097
宇佐美重
第8西突堤(阪神大震災で全壊)

2100636-002098
宇佐美重
新港第8突堤



2100636-002099
宇佐美重
メリケン波止場(万国波止場)

2100636-002100
宇佐美重
神戸港震災メモリアルパーク

2100636-002101
宇佐美重
神戸海洋気象台

2100636-002102
宇佐美重
第一勵業銀行神戸支店(旧三井銀行
神戸支店)阪神大震災で全壊

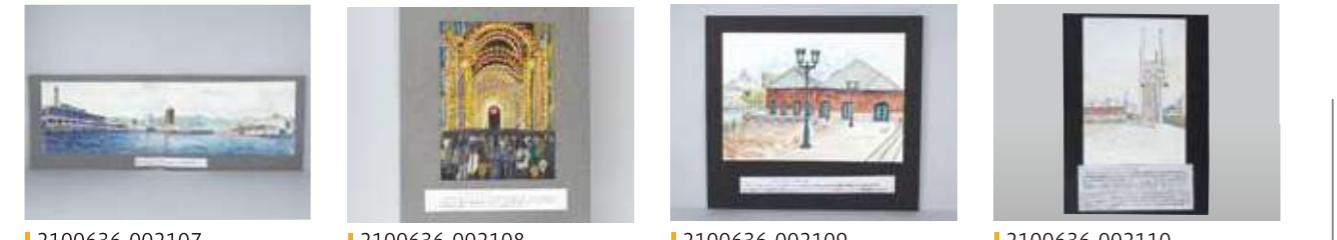


2100636-002103
宇佐美重
ROKKO23(ヴァントワア)

2100636-002104
宇佐美重
ROKKO23(灘区新在家南町)
阪神大震災で全壊

2100636-002105
宇佐美重
魚崎郷の酒蔵(阪神大震災で全壊)

2100636-002106
宇佐美重
工事中の明石海峡大橋



2100636-002107
宇佐美重
神戸港が完全復旧

2100636-002108
宇佐美重
ルミナリエ

2100636-002109
宇佐美重
ハーバーランド

2100636-002110
宇佐美重
ハーバーランド

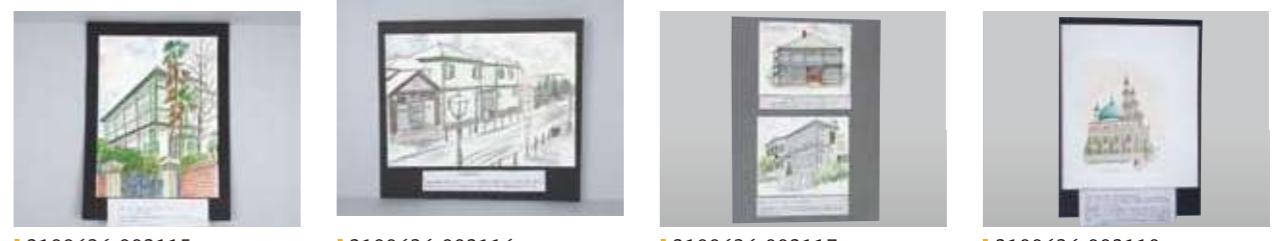


2100636-002111
宇佐美重
インフィオラータこうべ

2100636-002112
宇佐美重
小寺謙吉きゅう舎

2100636-002113
宇佐美重
ベンの家

2100636-002114
宇佐美重
香りの家オランダ館



2100636-002115
宇佐美重
神戸女子短大セミナーハウス
(旧アンダーセン邸)

2100636-002116
宇佐美重
洋館長屋

2100636-002117
宇佐美重
東天閣(旧ビショップ邸)、旧グラ
シニア邸 神戸市中央区北野町4

2100636-002118
宇佐美重
神戸市中央区中山手通2丁目

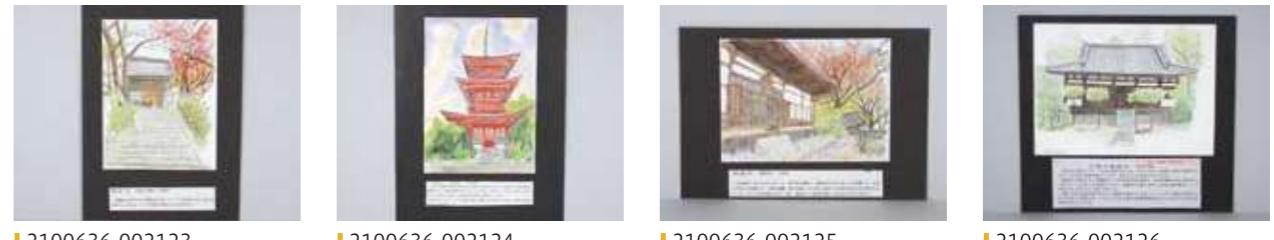


2100636-002119
宇佐美重
北野異人館ブーム

2100636-002120
宇佐美重
KOBE異人館

2100636-002121
宇佐美重
温泉寺(有馬町)

2100636-002122
宇佐美重
稻荷神社(有馬町)



2100636-002123
宇佐美重
林溪寺(真宗大谷派)(有馬町)

2100636-002124
宇佐美重
石峰寺三重塔(淡河町神影)

2100636-002125
宇佐美重
善福寺(曹洞宗)(有馬町)

2100636-002126
宇佐美重
石峰寺薬師堂(淡河町神影)



2100636-002127
宇佐美重
豊蔵神社(大沢町市原)

2100636-002128
宇佐美重
北僧豊村歌舞伎舞台

2100636-002129
宇佐美重
下谷上農村歌舞伎舞台
(山田町下谷上)

2100636-002130
宇佐美重
上谷上農村歌舞伎舞台
(山田町上谷上字宮ノ開地)



2100636-002131
宇佐美重
天満神社(山田町上谷上字宮ノ開地)

2100636-002132
宇佐美重
山田農村民具農具館
(山田町原野字北子3番地)

2100636-002133
宇佐美重
つくはら湖

2100636-002134
宇佐美重
箱木千年家



2100636-002135
宇佐美重
丹生神社
2100636-002136
宇佐美重
瑞宝寺公園
2100636-002137
宇佐美重
六条八幡神社(山田町中)
2100636-002138
宇佐美重
冬の六条八幡神社三重塔
(山田町中)



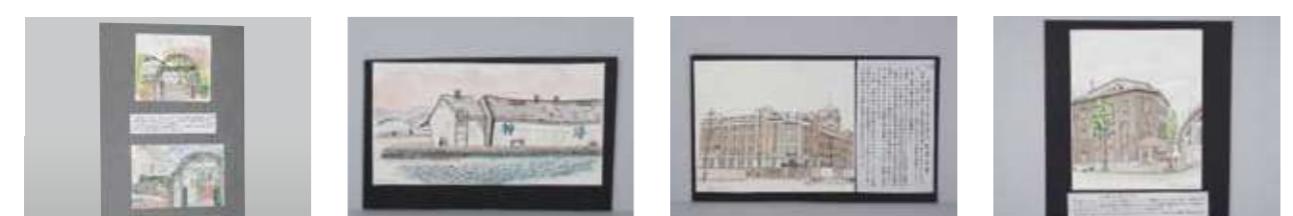
2100636-002139
宇佐美重
八幡神社三重塔(山田町中)
2100636-002140
宇佐美重
七社神社(山田町)
2100636-002141
宇佐美重
若王寺神社(山田町福地)
2100636-002142
宇佐美重
永徳寺(山田町)



2100636-002143
宇佐美重
新兵衛石(山田町福地)
2100636-002144
宇佐美重
無動寺(山田町福地)
2100636-002145
宇佐美重
ポートアイランド
2100636-002146
宇佐美重
第2の人工島 六甲アイランド



2100636-002147
宇佐美重
神戸市役所2号館
2100636-002148
宇佐美重
阪急会館
2100636-002149
宇佐美重
大丸神戸店
2100636-002150
宇佐美重
1988年三宮そごう百貨店前



2100636-002151
宇佐美重
White Houseが
北野美術館に変身
2100636-002152
宇佐美重
兵庫二 神港倉庫
2100636-002153
宇佐美重
海側から見る神戸税関本館
2100636-002154
宇佐美重
上組本社ビル



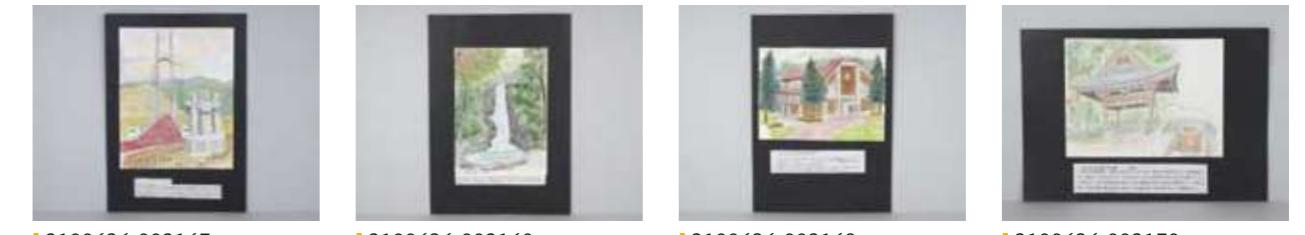
2100636-002155
宇佐美重
朝日ビル・朝日会館
(旧神戸証券取引所)
2100636-002156
宇佐美重
旧関西学院チャペル
(現王子市民ギャラリー)
2100636-002157
宇佐美重
解体されたR上屋
2100636-002158
宇佐美重
神戸地方裁判所



2100636-002159
宇佐美重
モダン寺(善福寺)
2100636-002160
宇佐美重
旧神戸商工会議所
2100636-002161
宇佐美重
光尊寺(旧西本願寺派兵庫別院)
(中央区山本通)
2100636-002162
宇佐美重
西神中央駅



2100636-002163
宇佐美重
神戸市立森林植物園
(北区山田町下谷上中)
2100636-002164
宇佐美重
明治30年(1897年)上水道起工式
2100636-002165
宇佐美重
千苅水源地(道場町)
2100636-002166
宇佐美重
千苅水源地



2100636-002167
宇佐美重
神出・山田自転車道
2100636-002168
宇佐美重
鼓ヶ滝公園(有馬町)
2100636-002169
宇佐美重
神戸市立森林植物園
2100636-002170
宇佐美重
有馬炭酸泉源(有馬町)



2100636-002171
宇佐美重
極楽寺・念佛寺(有馬町)
2100636-002172
宇佐美重
専念寺(有馬町)
2100636-002173
宇佐美重
温泉神社(有馬町)
2200108-000001
芦屋市商工会
RE-ASHIYA ポスター



2200361-000003
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.8
2200361-000004
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.9
2200361-000005
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.10
2200361-000006
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.11



2200361-000007
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.12
2200361-000008
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.13
2200361-000009
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.14
2200361-000010
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.15



2200361-000011
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.16



2200361-000015
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.20



2200361-000016
都千都子
芦屋浜潮見町土質標本箱No.21



2300040-000013
兵庫県洋菓子協会
包装紙



2400232-000001
坂井修
ボード「救援ありがとう
水を下さい」



2500001-000001
竹中信清
震災時の絵画
JR灘南約1mの段差



2500001-000002
竹中信清
震災時の絵画
JR灘駅南倒壊日華ビル



2500001-000003
竹中信清
震災時の絵画
「ニューミュンヘン」倒壊



2500001-000004
竹中信清
震災時の絵画
崩れたJR三宮プラットホーム



2500001-000005
竹中信清
震災時の絵画 復興する長田の街



2500001-000006
竹中信清
震災時の絵画「六甲」街並み



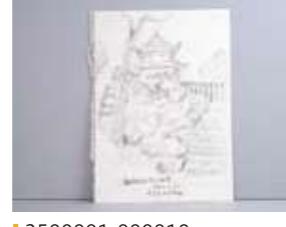
2500001-000007
竹中信清
震災時の絵画
菅原市場近くの焼けあと



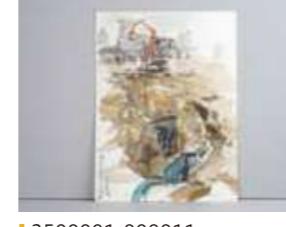
2500001-000008
竹中信清
震災時の絵画 三宮ビル倒壊



2500001-000009
竹中信清
震災時の絵画
三宮解体をまつビル



2500001-000010
竹中信清
震災時の絵画
崩れた明石城の石段



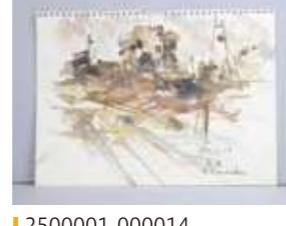
2500001-000011
竹中信清
震災時の絵画
復旧作業をする他県の応援組



2500001-000012
竹中信清
震災時の絵画
活断層の町北淡町



2500001-000013
竹中信清
震災時の絵画
炎上する長田(テレビTBSより)



2500001-000014
竹中信清
震災時の絵画「長田」町を望む



2500001-000015
竹中信清
震災時の絵画「三宮」ビル街



2500001-000016
竹中信清
震災時の絵画 新長田「北」



2500001-000017
竹中信清
震災時の絵画 長田菅原



2500001-000018
竹中信清
震災時の絵画「板宿」倒壊ビル



2500001-000019
竹中信清
震災時の絵画
「復興する三宮」阪急ビル



2500001-000020
竹中信清
震災時の絵画「三宮」飲み屋街



2500001-000021
竹中信清
震災時の絵画
復興をまつ三菱信託銀行



2500001-000022
竹中信清
震災時の絵画 崩れた石垣



2500001-000023
竹中信清
震災時の絵画
燃上する長田の町



2500001-000024
竹中信清
震災時の絵画 須磨飛松町



2500001-000025
竹中信清
震災時の絵画
阪神大震災活断層の道



2500001-000026
竹中信清
震災時の絵画 北淡町



2500001-000027
竹中信清
震災時の絵画
長田焼あとの青空市場



2500001-000028
竹中信清
震災時の絵画
長田焼あとの
ガレキの中に建つフレハブ



2500001-000029
竹中信清
震災時の絵画
ポートアイランド
より見た神戸市役所



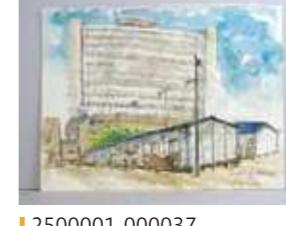
2500001-000030
竹中信清
震災時の絵画
大丸西・南京町に至る



2500001-000031
竹中信清
震災時の絵画 三宮



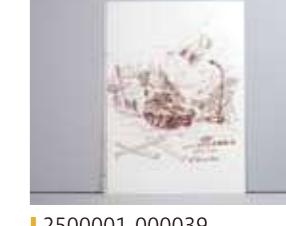
2500001-000032
竹中信清
震災時の絵画
三宮、そごう前



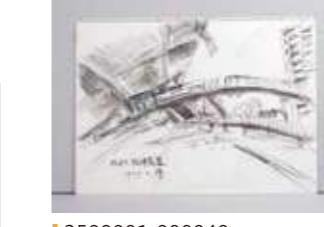
2500001-000033
竹中信清
震災時の絵画
三宮阪急駅を望む



2500001-000034
竹中信清
震災時の絵画 元町



2500001-000035
竹中信清
震災時の絵画
地割れのポートアイランド



2500001-000036
竹中信清
震災時の絵画 六甲



2500001-000037
竹中信清
震災時の絵画
二葉小学校で
炊き出しをするボランティア
(移情閣友の会)の皆様



2500001-000038
竹中信清
震災時の絵画
ガレキの中を
救出に走る自衛隊の車



2500001-000039
竹中信清
震災時の絵画
長田



2500001-000044
竹中信清
震災時の絵画
救助作業する自衛隊員



2500001-000045
竹中信清
震災時の絵画
淡路震源地のすぐ近く



2500001-000046
竹中信清
震災時の絵画
陥没した兵庫水木通り



2500001-000047
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000048
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000049
竹中信清
震災時の絵画 長田菅原



2500001-000050
竹中信清
震災時の絵画
救助する自衛隊員



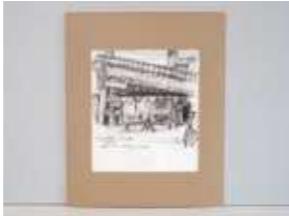
2500001-000051
竹中信清
震災時の絵画
神戸最後の栄光教会



2500001-000052
竹中信清
震災時の絵画 最後の栄光教会



2500001-000053
竹中信清
震災時の絵画
明石城崩れた石垣



2500001-000054
竹中信清
震災時の絵画
JR元町より大丸方向



2500001-000055
竹中信清
震災時の絵画 崩れた三菱銀行



2500001-000056
竹中信清
震災時の絵画 北淡町富島



2500001-000057
竹中信清
震災時の絵画
曲がりくねった電車の線路



2500001-000058
竹中信清
震災時の絵画
三宮



2500001-000059
竹中信清
震災時の絵画 元町駅東北



2500001-000060
竹中信清
震災時の絵画
三宮ニューミュンヘン



2500001-000061
竹中信清
震災時の絵画
富島中町



2500001-000062
竹中信清
震災時の絵画
復興なった三宮駅



3400117-002368
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
平成7年度地域活動賞の楯



3400117-002369
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
1999年度カレンダー(パネル)



3400117-002370
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
久二塚5丁目完成予定図
(パネル)(1)



3400117-002371
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
久二塚5丁目完成予定図
(パネル)(2)



3400117-001002
オリックス野球クラブ株式会社
今年一年ご声援ありがとうございました
ございました 大入袋



3400171-001004
オリックス野球クラブ株式会社
1995 PACIFIC LEAGUE
CHAMPIONS Blue Wave
テレフォンカード(50度)



3400171-001005
オリックス野球クラブ株式会社
がんばろう神戸
VICTORY ステッカー



3400171-001006
オリックス野球クラブ株式会社
オリックスブルーウェーブ
山口高志氏ユニフォーム(背番号74)



3400171-001007
オリックス野球クラブ株式会社
オリックスブルーウェーブ
高橋智氏ユニフォーム(背番号44)

被災地内で生まれたモノ資料 箱外



0000078-001003
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
絵画「黄昏のブーケ」3



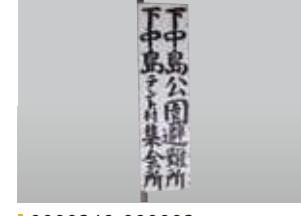
0000078-001008
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
上床掲書「題不明」9額入り



0000085-001002
赤木ますよ
帰依、念ス報土往生



0000167-002001
仮設西神第一住宅自治会
ちゅうちんの灯りに温もり



0000248-000002
下中島公園避難所
下中島テント村集会所
下中島公園避難所(看板)



0000078-001004
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
「Hyogo AID95」4-1~4-22(Hyogo AID95
by ART展示パネル及び絵画ポスター)



0000078-001009
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
パネル「トルコ地震写真」10-1~10-5



0000078-001005
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
『震災と復興(3年後)』
挨拶パネル及びボード



0000078-001015
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
パネル「震災モニュメントマップ」
16-1~16-5



0000078-001002
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
絵画「縄文埋没樹林」2



0000078-001007
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
書「あったか心」8額入り



0000085-001001
赤木ますよ
神戸のありし日、思い出の道



0000167-000001
仮設西神第一住宅自治会
年末警戒



0000248-004001
下中島公園避難所
灾害救助用毛布



0000204-003750
篠原公園仮設ふれあいセンター
紙しばい(いのちの重さ)



0000248-024002
下中島公園避難所
災害救助用毛布



0000250-012039
灘中央地区ボランティア
だるまストーブ



0000078-001001
阪神・淡路大震災復興支援館
(フェニックスプラザ)
絵画「題不明」1



0000250-012041
灘中央地区ボランティア
ステンレス保温箱



0000250-020061
灘中央地区ボランティア
「仮設のひっこしお手伝い」
告知看板



0000250-021001
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021002
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021003
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021004
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021005
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021006
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



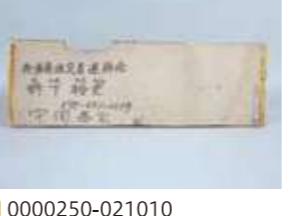
0000250-021007
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



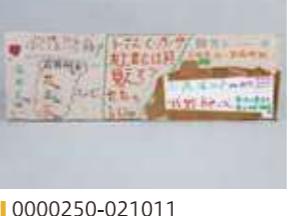
0000250-021008
灘中央地区ボランティア
「灘中央地区ボランティア本部」の
看板



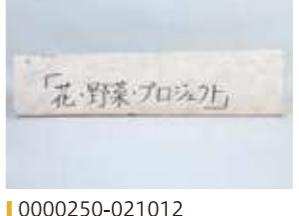
0000250-021009
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



0000250-021010
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



0000250-021011
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021012
灘中央地区ボランティア
「花・野菜プロジェクト」看板



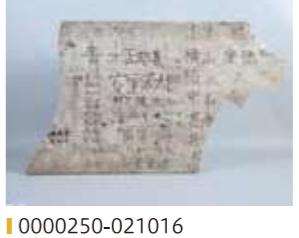
0000250-021013
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



0000250-021014
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021015
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021016
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021017
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021018
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021019
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021020
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021021
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の連絡先を記したボード



0000250-021022
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021023
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021024
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021025
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021026
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021027
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021028
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021029
灘中央地区ボランティア
ボランティア参加者の寄せ書き



0000250-021030
灘中央地区ボランティア
自衛隊のベッド



0000250-022001
灘中央地区ボランティア
炊き出し用大鍋



0000250-022002
灘中央地区ボランティア
本部(看板)



0000250-022003
灘中央地区ボランティア
カラオケ隊参上!(旗)



0000280-000001
瀬戸公園ふれあいセンター
瀬戸公園ふれあいセンター看板



0000288-000001
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板「まちの保健室」



0000288-005023
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用したマナ板



0000288-005024
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用したお椀



0000288-005025
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用したマナ板立て



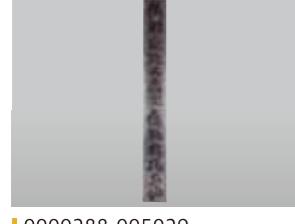
0000288-005026
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用したヤカン



0000288-005027
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用した 大鍋



0000288-005028
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用した 電気釜



0000288-005029
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板「阪神・淡路大震災救助救援基地」



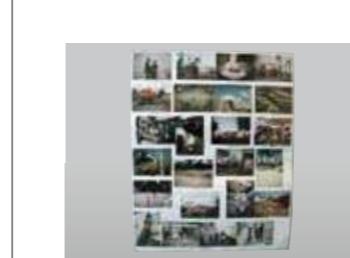
0000288-005030
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
看板支援活動で使用した マナ板



0000288-009034
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
和田画伯作品集



0000288-010005
たかとりコミュニティセンター
(たかとり救援基地)
震災新聞 特集号(被災地を歩いて)



0000289-003005
FMわいわい
(たかとりコミュニティセンター)
「さっき見てきた神戸・長田展」の
写真ポスター



0000290-001480
アジアタウン推進協議会
(たかとりコミュニティセンター)
呼込み看板「丸五寄席」



0000290-001481
アジアタウン推進協議会
(たかとりコミュニティセンター)
看板「わいわい丸五ステーション」



0000290-002063
アジアタウン推進協議会
(たかとりコミュニティセンター)
神戸アジアタウン推進協議会の
役割説明パネル



0000290-002064
アジアタウン推進協議会
(たかとりコミュニティセンター)
まるごとアジア交流会と標識の
多言語化(パネル)



0000318-001001
中尾哲夫
地震感知ブレーカー装置



0000325-001001
佐々木久仁男
神戸長田1995年1月



0000326-001001
矢崎正道
阪神・淡路大震災を忘れないで!
童話「地球が動いた日」被災者
救援募金で使用された自転車



0000326-002001
矢崎正道
地球が動いた日、日本一周
小豆島での様子



0000326-002002
矢崎正道
地球が動いた日、日本一周
温泉津(ゆのつ)での様子



0000346-001001
長尾和
1995.1.17 街(路傍)



0000359-001001
森倭子
「崩れ落ちた壁」油彩画(100号)



0000377-001017
松田伸一
大社ファミリーパネル



0000415-001001
松村麗子
コラージュ「震災からのメッセージ」



0000417-001001
酒井隆
追悼の様子(写真パネル)



0000419-001001
神生善美
避難生活で使われた扇風機



0000419-001003-001005
神生善美
鷹取湯の脱衣カゴ



0000435-001001
福田和昭
六甲小学校避難所で使用された
炊飯器



0000437-001001
ひょうご安全の日推進県民会議
献花(菊の生花—保存加工
処理済み)10周年



0000437-001002
ひょうご安全の日推進県民会議
献花(蘭の生花—保存加工
処理済み)15周年



0000455-001001
NHK神戸放送局
「震災の絵」出展作品
悲しみ色の街1.17



0000455-001002
NHK神戸放送局
「震災の絵」出展作品
大井手町(西宮市)



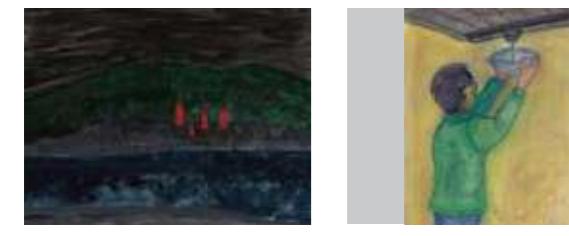
0000455-001003
NHK神戸放送局
「震災の絵」出展作品
復興へ
43号線本町



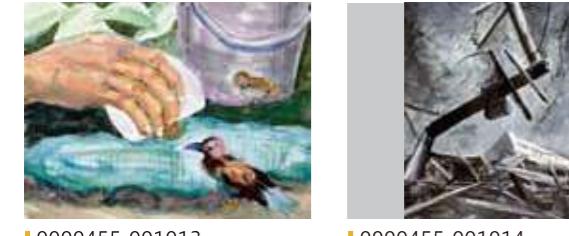
0000455-001004
NHK神戸放送局
「震災の絵」出展作品
43号線本町



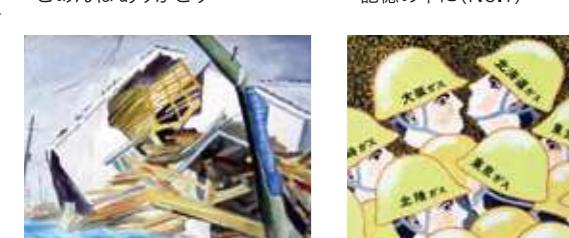
0000455-001005
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕私の店
0000455-001006
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕JAN.'95
-生きているから



0000455-001009
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕暗闇の中の火柱
0000455-001010
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕水集め



0000455-001013
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ごめんね ありがとう
0000455-001014
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕記憶の中に(No.1)



0000455-001017
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕惨状
0000455-001018
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ガスの復旧作業



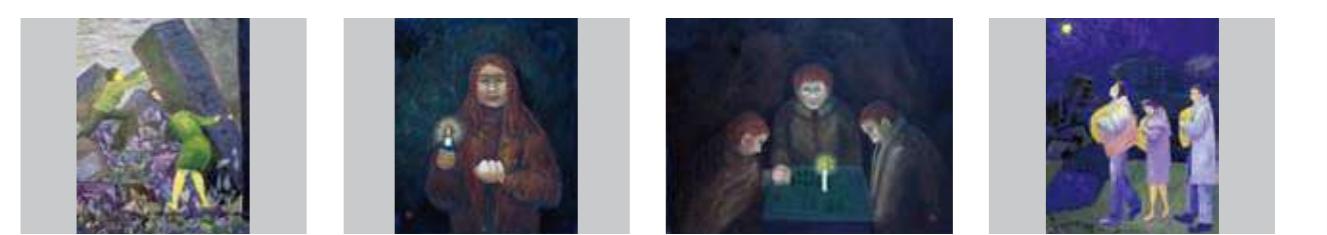
0000455-001021
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕悲しい墓場
0000455-001022
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕絆



0000455-001025
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕三宮・長いバスの列
0000455-001026
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕地震直後 -1995.1.17



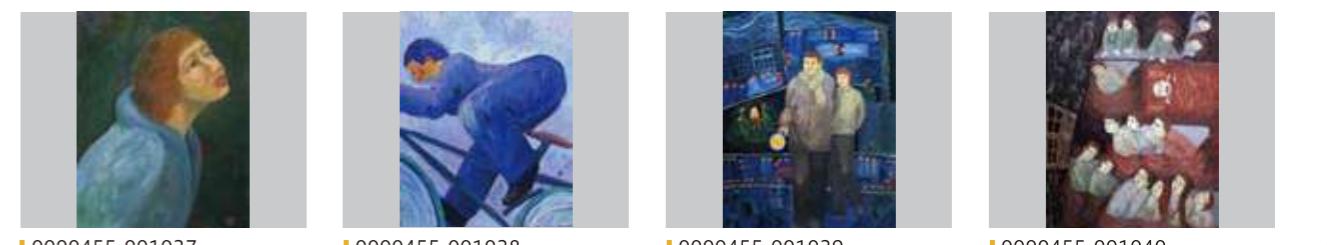
0000455-001007
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕JAN.'95
-歩くそして生きる
0000455-001008
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕懲り忘れない
忘れない
0000455-001009
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ガラス -1995.1.17 家の中 -
ガラス -1995.1.17 夕暮れ時 隣人 -
0000455-001010
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ガラス -1995.1.17 夜 -
ガラス -1995.1.17 夜 -
0000455-001011
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕西の空は赤く
0000455-001012
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕鎮魂
-KOBE-1995
0000455-001013
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕記憶の中に(No.3)
0000455-001014
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕記憶の中に(No.2)
0000455-001015
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕記憶の中に(No.1)
0000455-001016
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕記憶の中に(No.3)
0000455-001017
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕震災の春
0000455-001018
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕感謝
0000455-001019
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕震災の春
0000455-001020
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕震災の春
0000455-001021
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕復興に向かって
0000455-001022
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕自宅マンション前の道路
0000455-001023
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕自宅マンション前の道路
0000455-001024
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕友人 - バイクで救援物資 -
0000455-001025
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(地元の夜明け)
0000455-001026
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(倒れた石灯籠)
0000455-001027
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕大丈夫ですか!? 大丈夫ですか?
-1995.1.17 隣人 -
0000455-001028
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕1995.1.17 朝 - 自宅とその周辺 -



0000455-001029
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ガラス -1995.1.17 家の中 -
ガラス -1995.1.17 夕暮れ時 隣人 -
0000455-001030
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕おむすび -
-1995.1.17 夕暮れ時 隣人 -
0000455-001031
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕ローソク
-1995.1.17 日が暮れて -
0000455-001032
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕月明かり
-1995.1.17 避難所への道 -
0000455-001033
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕避難所
<小学校の廊下> -1995.1.17 夜 -
0000455-001034
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕祈り -1995.1.17 夜 -
0000455-001035
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕長い夜 -1995.1.17 -
0000455-001036
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕余震、余震、余震 -1995.1.17 -



0000455-001037
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕神様... -1995.1.17 夜 -
0000455-001038
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕無事か!? -
-1995.1.18 自転車で大阪から
駆けつけてくれた友人 -
0000455-001039
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕避難所の夜
0000455-001040
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕誰か来る!
誰か来る! 誰か来る!
-悪夢にうなされて -
0000455-001041
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕水汲み
0000455-001042
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕母の朝 - 圧迫骨折 -
0000455-001043
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕埼玉救急医療
チーム - 父の狭心症と母の圧迫骨折 -
0000455-001044
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕母の治療
-寝たきりにならないために -
0000455-001045
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕友人 - バイクで救援物資 -
0000455-001046
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕並ぶ
0000455-001047
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(地震の日の夜明け)
0000455-001048
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(倒れた石灯籠)
0000455-001049
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(特設風呂)
0000455-001050
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(迷い犬に吠える)
0000455-001051
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(夙川上流の石垣)



0000455-001052
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕合掌(夙川上流の石垣)



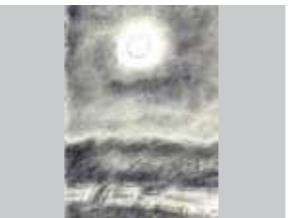
0000455-001053
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
合掌(再会)



0000455-001054
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
合掌(夙川駅)



0000455-001055
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
神戸からありがとう!



0000455-001056
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
月の光に照らされる神戸



0000455-001057
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
阪急伊丹駅



0000455-001058
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
思い出の家



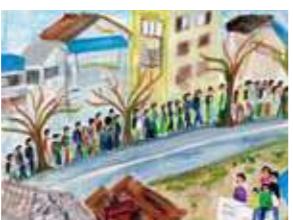
0000455-001059
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕(無題)
思い出の家



0000455-001060
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕(無題)
国道地蔵さん



0000455-001061
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
人と自然の共生を考える



0000455-001062
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕(無題)



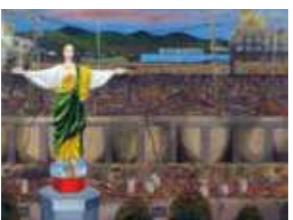
0000455-001063
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕想い
被災地にも春が!!



0000455-001064
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
被災地にも春が!!



0000455-001065
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
火よ止まれ



0000455-001066
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕復興原点



0000455-001067
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
あの年の夏



0000455-001068
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
あの年の秋



0000455-001069
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
残骸(あれから15年)



0000455-001070
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕火と燈



0000455-001071
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
万感(父の祈り)



0000455-001072
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
“その瞬間”的記憶と思い



0000455-001073
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
1.17宝塚花のみち



0000455-001074
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕circle



0000455-001075
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕命・無惨



0000455-001076
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
よくぞ、頑張ったね!!



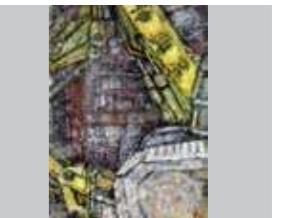
0000455-001077
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
復興への道



0000455-001078
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕阪神、JR、
阪急、全線開通うれしいな



0000455-001079
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
震える月



0000455-001080
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
カニバサミの休息



0000455-001081
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
あの時を忘れない



0000455-001082
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
5人生き埋めの邸宅



0000455-001083
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
ぽかんとあいた空



0000455-001084
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
悪夢



0000455-001085
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
語り継ごう117



0000455-001086
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
焼け跡に立つ老婆(西代にて)



0000455-001087
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
お姉ちゃんと私



0000455-001088
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
震災直後の朝



0000455-001089
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
新長田一番街から南をのぞむ



0000455-001090
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
中突堤からメリケン波止場をのぞむ



0000455-001091
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
甲陽市場の跡



0000455-001092
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
1.神戸からのメッセージ(壊)



0000455-001093
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
2.神戸からのメッセージ(焼)



0000455-001094
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
3.神戸からのメッセージ



0000455-001095
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
祈(1月17日の夕日)



0000455-001096
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
私の部屋



0000455-001097
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
存在と時間



0000455-001098
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
JR六甲道の災害



0000455-001099
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
助かった



0000455-001100
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
1.地震直後の大火災



0000455-001101
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
2.神戸港も被害甚大



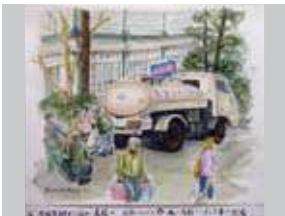
0000455-001102
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
3.ビルのあらがむき出しに



0000455-001103
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
4.線路が直立不動



0000455-001104
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
5.横浜市の消防車も大活躍



0000455-001105
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
6.全国から暖かい救援・命の水



0000455-001106
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
7.王子競技場はヘリポートに



0000455-001107
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
8.神戸港に自衛艦が着岸



0000455-001108
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
9.JR六甲道駅東ガード下



0000455-001109
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
10.ガス本管の復旧工事



0000455-001110
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
11.息をのむ生田新道の惨状



0000455-001111
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
12.元の賑わいを取り戻した生田新道



0000455-001112
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
震災の恐怖は一瞬にあらず



0000455-001113
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
お客様に励まされて



0000455-001114
NHK神戸放送局
〔「震災の絵」出展作品〕
新長田駅より南へ



0000464-001001
土肥紀子
もう一度(自作の詩)



1200515-002001
青葉園
あおば生活ホーム
西宮が好きやねん(看板)



1300299-001001
創価学会兵庫県事務局
タイトルボード(希望と勇気のボランティア写真展)



1300299-001002
創価学会兵庫県事務局
震災直後の兵庫池田文化会館



1300299-001003
創価学会兵庫県事務局
活断層が通っていた
兵庫池田文化会館北側歩道



1300299-001004
創価学会兵庫県事務局
約1キロにわたり横倒しになった
阪神高速道路神戸線



1300299-001005
創価学会兵庫県事務局
倒壊した阪神高速道路神戸線



1300299-001006
創価学会兵庫県事務局
一階部分が無残にも崩壊し、
多くの犠牲者を出したマンション



1300299-001007
創価学会兵庫県事務局
まるで戦争で爆撃をうけたかの
ように見渡す限り焼失した一帯



1300299-001008
創価学会兵庫県事務局
崩壊した家により、道路はいたる
所で通行不能になった



1300299-001009
創価学会兵庫県事務局
全てが投げ落され、一瞬のうちに
多くの人々が家屋の下敷となり、
尊い人命が奪われた



1300299-001010
創価学会兵庫県事務局
今にも倒れそうな家屋の
横を通る沈痛な表情の人々



1300299-001011
創価学会兵庫県事務局
救援物資の輸送には
ヘリコプターも使われた



1300299-001012
創価学会兵庫県事務局
各地から「何か手伝うことはないか」と、多くの青年部員が駆けつけた



1300299-001013
創価学会兵庫県事務局
次々と運び込まれる救援物資



1300299-001014
創価学会兵庫県事務局
関西各地から救援物資が
北淡町の避難場所に次々と届く



1300299-001015
創価学会兵庫県事務局
西口関西長を中心に
災害対策会議を開く



1300299-001016
創価学会兵庫県事務局
寸断された交通網と大渋滞の道路の
なかで救援物資の運搬に大活躍の
青年部ボランティアの「バイク隊」



1300299-001017
創価学会兵庫県事務局
震災後の断水地域に4トンタンク
ローリー車で給水サービスを行った



1300299-001018
創価学会兵庫県事務局
ボランティア隊のメンバーが、
疲れをかえりみず懸命に物資を
搬入(兵庫池田文化会館)



1300299-001019
創価学会兵庫県事務局
「救援センター」として
フルに機能した灘文化会館



1300299-001020
創価学会兵庫県事務局
救援物資を配布する青年部
ボランティア隊(兵庫池田文化会館)



1300299-001021
創価学会兵庫県事務局
有志が「豚汁」を有志が用意した
3000食分の「真心」にひとときの
安どが広がる(西宮市内で)



1300299-001022
創価学会兵庫県事務局
「元気を出して頑張ろう!」自らの
被災をかえりみず、土井淡路園長が
先頭に立ち被災した人たちを見舞う



1300299-001023
創価学会兵庫県事務局
避難所を回り、被災者の苦しい状況を
聞きヒザづめで激励する秋谷会長



1300299-001024
創価学会兵庫県事務局
懸命に復旧作業に当たる男子部
メンバーを激励する谷川青年部長



1300299-001025
創価学会兵庫県事務局
被災した方の診療に全力で
取り組む救急医療班のメンバー



1300299-001026
創価学会兵庫県事務局
被災者の手を握って励ます歌手の
山本リンダさん。忙しいスケジュールの
合間に縫って駆けつけた。



1300299-001027
創価学会兵庫県事務局
音民から神戸市に義援金の
目録を渡す



1300299-001028
創価学会兵庫県事務局
散髪のボランティアをする
学会の理容師グループ



1300299-001029
創価学会兵庫県事務局
勤行法要では池田名譽会長の
導師で厳粛に勤行、唱題。



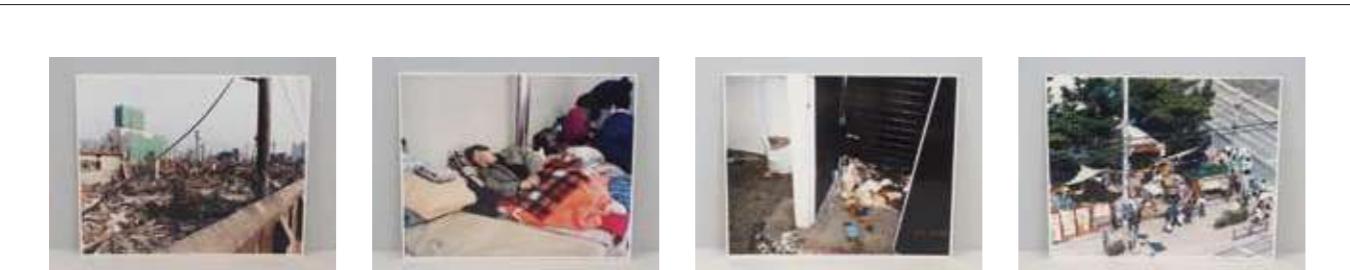
1300299-001030
創価学会兵庫県事務局
勤行法要では池田名譽会長の
導師で厳粛に勤行、唱題。



1300299-001031
創価学会兵庫県事務局
賑わいが戻り、人々の顔にも希望の
表情が(神戸市中央区大安亭市場)



1300299-001032
創価学会兵庫県事務局
40日ぶりに同志が集まったサンデー
勤行会再建の誓いも新たに。



1300322-000184
神戸元気村
焼失した街・新長田駅周辺

1300322-000185
神戸元気村
避難所・眠る被災者

1300322-000186
神戸元気村
避難所のトイレ

1300322-000187
神戸元気村
神戸元気村・炊き出し



1300322-000188
神戸元気村
神戸元気村ボランティア
メンバーの名札



1300322-000189
神戸元気村
無料理容院 元気屋



1300322-000190
神戸元気村
元気村の歯科検診



1300322-000191
神戸元気村
炊き出し



1300322-000192
神戸元気村
元気村ボランティアによる炊き出し



1300322-003610
神戸元気村
炊き出しの看板(1)



1300322-003611
神戸元気村
炊き出しの看板(2)



140010-002001
プロジェクト1-2
共という名の鶴



1400385-003001
駒中ふれあいボランティア
(駒中太鼓)ドラム缶を利用した
手作太鼓(大)



1400385-003002
駒中ふれあいボランティア
(駒中太鼓) ドラム缶を利用した
手作太鼓(小)



1400385-003004
駒中ふれあいボランティア
手作りパイプ楽器(大)



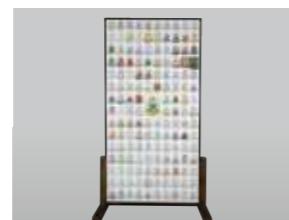
1400385-003005
駒中ふれあいボランティア
手作りパイプ楽器(小)



1500039-002001
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
木製看板(西ふれあいセンター)



1500471-000104
コープボランティアきんぎょ草
きんぎょう草カレンダーパネル



1600149-000003
密教院善祥寺
一人一仏運動
仏画貼り付けふすま



2100341-000217
高寺与三郎 寿美子
CRYSTAL GEYSER
(ペットボトルの水)



2100587-000001
小林信
"神戸の壁"油絵(額付)



2100599-000013
横井明美
展示会パネル



2200670-000001
前田三好
エンシュア・リキッド
(経腸栄養剤)



2300092-000001
神戸市商店街連合会
商店街50周年協賛
出展パネル写真



2300092-002001
神戸市商店街連合会
震災10年復興感謝のつどい
~笑顔でつくろう!これからの中身~
写真パネル

2300772-000003
青西千賀子
油絵 神戸炎上

2400120-000002
三原泰治
モニュメント神戸の壁・
鎮魂と復興のベンチ

2400167-000005
コクヨ神戸
阪神大震災被災パネル



2500001-000063
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000064
竹中信清
震災時の絵画 JR三宮駅下り線



2500001-000065
竹中信清
震災時の絵画 燃える長田の街



2500001-000066
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000067
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000068
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000069
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000070
竹中信清
震災時の絵画 燃える長田の街



2500001-000071
竹中信清
震災時の絵画
明石天文台(5時46分)



2500001-000072
竹中信清
震災時の絵画
解体をまつ神戸そごう



2500001-000073
竹中信清
震災時の絵画
燃上する長田の街 TBSより



2500001-000074
竹中信清
震災時の絵画
空を覆う火災と黒煙・長田



2500001-000075
竹中信清
震災時の絵画



2500001-000076
竹中信清
震災時の絵画 長田の町



2500001-000077
竹中信清
震災時の絵画
(長田大正筋の焼けあと)



2500001-000078
竹中信清
震災時の絵画
震災直後の明石城



2500001-000079
竹中信清
震災時の絵画



2500405-001001
池田照雄
絵画「地鳴る」



2500405-001002
池田照雄
絵画「落葉の語らい」



3200961-001001
大黒屋
震災当日の店の看板



3300206-016001
中島正義
「1,170 Wishes」を使った竹筒と
それで作った竹炭



3300394-001002
神戸市立なぎさ小学校
人と防災未来センターの
記念式典において使用された幕



3300394-001003
神戸市立なぎさ小学校
人と防災未来センターの
記念式典において使用された幕



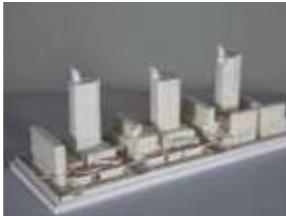
3400117-002372
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
復興元気村パラール店内案内図
(パネル)



3400117-002373
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
久二塚5.6丁目完成予定図
(パネル)



3400117-002374
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
久二塚地区震災復興まちづくり
協議会事務所看板



3400117-002375
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
久二塚地区震災復興まちづくり
協議会事務所看板



3400117-002376
久二塚地区震災復興まちづくり協議会
「二葉町5丁目の皆様へのお願い」
解体工事の通知



3400267-001007
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時取材に使用したスクーター



3400267-001008
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時に使用したポータブル便器



3400267-001009
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時配布されたボディーフレッシュ



3400267-001010
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時配布された防水スプレー



3400267-001011
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用したガスレンジ



3400267-001012
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用したキャビネット



3400267-001013
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用した石油ストーブ



3400267-001014
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のテレビ



3400267-001015
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のビデオデッキ



3400267-001016
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のパソコンセット



3400267-001017
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のプリンター



3400267-001018
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のワープロ(書院)



3400267-001019
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用のファックス



3400267-001020
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災時使用の写真引き延し機



3400267-001021
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
夏当時使用扇風機



3400267-001022
産経新聞神戸総局
産経新聞 神戸総局取材基地
震災当時着替用として差し入れられたYシャツ



3500247-001001
(株)神戸センター
告知看板(仮設店舗閉店及び
新店舗オープンの案内)



3600067-001002
(有)佐藤商店
震災当時救援物資として
支給された、魚の缶詰



4700303-002001
神戸市立青少年科学館
それは、さむく、まだくらい朝でした



4700303-002002
神戸市立青少年科学館
地震によるひがい



4700303-002003
神戸市立青少年科学館
震源は地下深いところ



4700303-002004
神戸市立青少年科学館
震源は地下深いところ



4700303-002005
神戸市立青少年科学館
震源は地下深いところ



4700303-002006
神戸市立青少年科学館
震度7の震源



4700303-002007
神戸市立青少年科学館
震度とは



4700303-002008
神戸市立青少年科学館
アッ! 地震だ



4700303-002009
神戸市立青少年科学館
地下ふかくでナマズがあはれた?



4700303-002010
神戸市立青少年科学館
明石海きょうの地下で
何がおきたのか?



4700303-002011
神戸市立青少年科学館
地震で大地がくいちがった



4700303-002012
神戸市立青少年科学館
いろいろな断層



4700303-002013
神戸市立青少年科学館
断層のでき方の実験



4700303-002014
神戸市立青少年科学館
地球をおおうプレート



4700303-002015
神戸市立青少年科学館
小石をおとした池の波



4700303-002016
神戸市立青少年科学館
地震のゆれは波となってひろがる



4700303-002017
神戸市立青少年科学館
かたい岩がふるえる



4700303-002018
神戸市立青少年科学館
地下では小さなゆれしか感じない?



4700303-002019
神戸市立青少年科学館
P波とつるまきばねの波・音波



4700303-002020
神戸市立青少年科学館
S波となわとびのつな波



4700303-002021
神戸市立青少年科学館
遠くなるほど小さくなります。



4700303-002022
神戸市立青少年科学館
大きい、小さいという意味



4700303-002023
神戸市立青少年科学館
マグニチュードといふものさし



4700303-002024
神戸市立青少年科学館
ゆれの大きさをはかる原理



4700303-002025
神戸市立青少年科学館
地震のゆれをさくすよ



4700303-002026
神戸市立青少年科学館
世界で地震のおこっているところ



4700303-002027
神戸市立青少年科学館
地震列島日本



4700303-002028
神戸市立青少年科学館
地震は私たちのまちでどれくらいおきているの?



4700303-002029
神戸市立青少年科学館
内陸直下(直下型)の地震



4700303-002030
神戸市立青少年科学館
500年前のからいままでに近畿地方とその近くでおきた地震



4700303-002031
神戸市立青少年科学館
巨大地震はどうしておきるのでしょう?



4700303-002032
神戸市立青少年科学館
よしん(余震)のおきているところ



4700303-002033
神戸市立青少年科学館
つなみ(津波)



4700303-002034
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その1



4700303-002035
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その2



4700303-002036
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その3



4700303-002037
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その5



4700303-002038
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その5



4700303-002039
神戸市立青少年科学館
そのときどうする? その7



4700303-002040
神戸市立青少年科学館
地震にそなえて その1



4700303-002041
神戸市立青少年科学館
地震にそなえて その2



4700303-002042
神戸市立青少年科学館
地震にそなえて その3



4700303-002043
神戸市立青少年科学館
震度の説明(震度0と1)



4700303-002044
神戸市立青少年科学館
震度の説明(震度2と3)



4700303-002045
神戸市立青少年科学館
震度の説明(震度4と5)



4700303-002046
神戸市立青少年科学館
震度の説明(震度6と7)



4700305-001002
皆川幸子
絵画「液状化?マンホールが」
(芦屋市高浜町)



4700305-001003
皆川幸子
絵画「がんばって・ありがとう」
(芦屋市茶屋之町)



4700305-001004
皆川幸子
絵画「廃墟」(芦屋市茶屋之町)
(芦屋市三八通り商店街)



4700305-001005
皆川幸子
絵画「コンテナハウス」
(芦屋市三八通り商店街)



4700305-001006
皆川幸子
絵画「甲陽市場はいつ
中央地区再開発に思う」
(芦屋市茶屋之町)



4700305-001007
皆川幸子
絵画「仮設住宅」(芦屋市南宮町)
(芦屋市南宮町)



4700305-001010
皆川幸子
絵画「仮設店舗」
(芦屋市茶屋之町)



4700321-001004
皆川幸子
絵画「仮設店舗」
(芦屋市茶屋之町)



4700423-001001
中島千恵
絵画「水道部」
(芦屋市茶屋之町)



4700423-001003
中島千恵
絵画「水道部」
(芦屋市茶屋之町)



4700781-001001
中島千恵
絵画「水道部」
(芦屋市茶屋之町)



5200090-002001
中島千恵
絵画「水道部」
(芦屋市茶屋之町)



4700423-001002
中島千恵
絵画「崩の生命」
(阪神・淡路大震災航空写真パネル)